



Title	75年のあゆみ
Author(s)	大阪防疫協会
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/99614
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

75th

Anniversary

75年のあるみ



一般財団法人

大阪防疫協会

75年のあるみ



一般財団法人

大阪防疫協会

目 次

ごあいさつ	1
歴代理事長	3
歴代理事・役員	7
機構組織の変遷	15
設立の経緯	21
沿革	29
協会概要	47
表彰状・感謝状	53
式典	65
・創立40周年記念式典	66
・創立50周年記念式典	68
・創立周年表彰式典	72
公益活動	77
・公益活動記録写真	79
・機関誌「makoto」	87
・機関誌「makoto」の寄稿者	99
・セミナー・講演会	103
・学会報告・講演・調査研究	121



75周年にあたって

一般財団法人 大阪防疫協会

理事長 今田 光三

当協会は、伝染病（感染症）が猛威を振るっていた戦後の混乱期にあった昭和22年に設立され、これまで大阪における感染症予防のけん引車として、大阪府・市の防疫施策に協力し、各種ワクチン・防疫薬剤の供給や消毒・衛生害虫駆除業務をはじめ、簡易専用水道の定期検査や建築物環境衛生の維持管理などの業務を展開し、感染症並びに公衆衛生の向上に寄与してまいりました。

設立以来、幾多の試練と困難に遭いながら関係機関のご指導と皆様方のあたたかいご支援をいただき、令和4年5月に75周年を迎えることが出来ましたことを、この機会に改めてお礼を申し述べたいと思います。

超高齢化社会を迎え、社会の価値観が多様化する中で、公衆衛生の果たすべき役割はますます大きくなっています。

私どもは、社会に貢献すべく公益事業として「防疫に関する相談事業」（ワクチン等に関する相談、ネズミ・昆虫等に関する相談）、「防疫用国有ワクチンの備蓄事業等」（緊急時における国有ワクチンの供給）、「防疫思想及び防疫知識の普及啓発」（機関誌「Makoto」の発刊、ホームページからの情報発信、衛生教育の開催等）、「防疫に関する調査並びに研究」（ネズミ・昆虫等に関する生息調査、駆除等の調査研究）等を行ない、府民の皆様方により一層身近な開かれた存在となるよう努めてまいりました。

また、皆様からいただいた信頼を大切に致しまして、人々の健康で快適な暮らしに奉仕する公益法人設立当初の目的の実現に向け、また、withコロナの新しい時代のニーズにお応えするために、技術者集団として高いレベルを保ち続け、精力的かつこれまで以上に社会に貢献すべく努力を重ね一層の充実を図っていく所存です。

今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

歷代理事長





歴代理事長



初代

吉津度

(S24.11.18～S31.6.30)



2代

辻野直三郎

(S33.5.27～S58.7.1)

名誉理事長

(S58.7.1～H2.12.29)



3代

辻野守典

(S58.7.1～H12.10.30)

名誉理事長

(H12.11.1～H17.7.31)



4代
澤田重樹
(H12.11.1～H17.7.31)



5代
相良武彦
(H17.8.1～H24.3.31)



6代
久多里文也
(H24.4.1～R2.6.25)



7代
今田光三
(R2.6.25～)

歷代理事・役員



歴代理事

- 辻 野 直三郎 (S 24.11.18~S 33. 5.27)
- 船 橋 儀太郎 (S 24.11.18~S 29. 1. 1)
- 太田垣 土 郎 (S 24.11.18~S 34. 1.23)
- 井 口 竹次郎 (S 24.11.18~S 40. 5.28)
- 和 田 薫 (S 26. 5.13~S 35. 5.20)
- 内 藤 芳太郎 (S 33. 5.27~S 35. 5.17)
- 山 口 繁 夫 (S 33. 5.27~H 1. 5.27)
(H 3. 2. 5~H 16. 5.21)
- 小 林 米 三 (S 35. 5.20~S 40. 5.28)
- 佐 藤 良 三 (S 35. 5.20~S 38. 8.10)
- 下 井 実 次 (S 39. 6. 1~S 46. 1.21)
- 辻 野 守 典 (S 40. 5.28~S 58. 7. 1)
- 遠 藤 斎 彦 (S 49. 5.28~H 1. 5.27)

- 池上正成 (S 51. 1.12～H 7. 5.27)
- 瀬元美知男 (H 1. 8.20～H 8.12.29)
- 角倉光彦 (H 7. 5.28～H 10. 5.21)
- 浅野五三男 (H 7. 5.28～H 10. 5.21)
- 清水邦雄 (H 10. 5.21～H 12. 5.16)
- 澤田重樹 (H 10. 5.21～H 12.10.31)
- 中田義富 (H 12. 5.13～H 19. 5.21)
- 相良武彦 (H 16. 5.22～H 17. 7.31)
- 下西雄二 (H 16. 5.22～H 21. 2.28)
- 神戸正雄 (H 18. 5.21～H 26. 3.31)
- 久多里文也 (H 20. 5.21～H 24. 3.31)
- 今田光三 (H 26. 4. 1～R 2. 6.24)

役員在任一覧

	就任	重任	退任	重任	退任	就任	退任	就任・重任	退任
吉津度	S 24.11.18	S 27.12.29		S 30. 1.23	S 31. 6.30 死亡				
辻野直三郎	S 24.11.18	S 27.12.29		S 30. 1.23	S 34. 1.23	S 34. 5.28		S 37. 5.28	
太田垣士郎	S 24.11.18				S 34. 1.23				
井口竹次郎	S 24.11.18	S 27.12.29		S 30. 1.23	S 34. 1.23	S 34. 5.28		S 37. 5.28	S 40. 5.28
船橋儀太郎	S 24.11.18		S 29. 1.1 死亡						
和田薰	S 26. 5.13	S 27.12.29		S 30. 1.23	S 34. 1.23	S 34. 5.28	S 35. 5.20		
内藤芳太郎	S 33. 5.27				S 34. 1.23	S 34. 5.28	S 35. 5.17		
山口繁夫	S 33. 5.27				S 34. 1.23	S 34. 5.28		S 37. 5.28	
小林米三						S 35. 5.20		S 37. 5.28	S 40. 5.28
佐藤良三						S 35. 5.20		S 37. 5.28	S 38. 8.10
下井實次								(註)S 39. 6. 1	
辻野守典									
遠藤齋彦									
池上正成									
瀬元美知男									
浅野五三男									
角倉光彦									
清水邦雄									
澤田重樹									
中田義富									
下西雄二									
相良武彦									
神戸正雄									
久多里文也									
(註)塙田弘文									
(註)三木紳一郎									
(註)荒川長太郎									
(監)藤田博									
今田光三									
(註)甲田伸一									
(監)青木秀訓									

役員在任一覧

	就任・重任	重任	退任	重任	就任・重任	重任	重任	退任	就任・重任
吉津度									
辻野直三郎	S 40. 5.28	S 43. 5.28		S 46. 5.28	S 49. 5.28	S 52. 5.28	S 61. 5.28		H 1. 5.28
太田垣士郎									
井口竹次郎									
船橋儀太郎									
和田薰									
内藤芳太郎									
山口繁夫	S 40. 5.28	S 43. 5.28		S 46. 5.28	S 49. 5.28	S 52. 5.28	S 61. 5.28	H 1. 5.27	
小林米三									
佐藤良三									
下井實次	S 40. 5.28	S 43. 5.28	S 46. 1.21						
辻野守典	⑩S 40. 5.28	S 43. 5.28		S 46. 5.28	S 49. 5.28	S 52. 5.28	S 61. 5.28		H 1. 5.28
遠藤齋彦					⑩S 49. 5.28	S 52. 5.28	S 61. 5.28	H 1. 5.27	
池上正成					⑩S 51. 1.12	S 52. 5.28	S 61. 5.28		H 1. 5.28
瀬元美知男									⑩H 1. 8.20
浅野五三男									
角倉光彦									
清水邦雄									
澤田重樹									
中田義富									
下西雄二									
相良武彦									
神戸正雄									
久多里文也									
⑩塙田弘文									
⑩三木紳一郎									
⑩荒川長太郎									
⑩藤田博									
今田光三									
⑩甲田伸一									
⑩青木秀訓									

役員在任一覧

	退任	就任	就任・重任	退任	就任・重任	退任	就任	退任	就任・重任
吉津 度	H 2.12.29 死亡								
辻野 直三郎									
太田垣 士郎									
井口 竹次郎									
船橋 儀太郎									
和田 薫									
内藤 芳太郎									
山口 繁夫		H 3. 2. 5	H 4. 5.28		H 7. 5.28	H10. 5.21	H10. 5.21		
小林 米三									
佐藤 良三									
下井 實次									
辻野 守典			H 4. 5.28		H 7. 5.28	H10. 5.21	H10. 5.21		H12.11. 1
遠藤 齋彦									
池上 正成			H 4. 5.28	H 7. 5.27					
瀬元 美知男	H 4. 5.27		⑩H 4. 5.28		H 7. 5.28	H 8.12.29 死亡			
浅野 五三男					⑩H 7. 5.28	H10. 5.21			
角倉 光彦					⑩H 7. 5.28	H10. 5.21			
清水 邦雄							H10. 5.21	H12. 5.16	
澤田 重樹							H10. 5.21		
中田 義富									⑩H 12. 5.23
下西 雄二									
相良 武彦									
神戸 正雄									
久多里 文也									
⑩ 塩田 弘文									
⑩ 三木紳一郎									
⑩ 荒川長太郎									
⑩ 藤田 博									
今田 光三									
⑩ 甲田 伸一									
⑩ 青木 秀訓									

役員在任一覧

	重任	退任	就任	重任	退任	就任	退任	就任・重任	退任
吉津度									
辻野直三郎									
太田垣士郎									
井口竹次郎									
船橋儀太郎									
和田薰									
内藤芳太郎									
山口繁夫	H13. 5.22	H16. 5.21							
小林米三									
佐藤良三									
下井實次									
辻野守典					H17. 7.31				
遠藤齋彦									
池上正成									
瀬元美知男									
浅野五三男									
角倉光彦									
清水邦雄									
澤田重樹	H13. 5.22			H16. 5.22			H19. 5.21		
中田義富	H13. 5.22			H16. 5.22			H19. 5.21		
下西雄二			H16. 5.22					H19. 5.22	H21. 2.28
相良武彦			H16. 5.22					H19. 5.22	
神戸正雄						H18. 5.21		H19. 5.22	
久多里文也								(終)H20. 5.21	
(評)塩田弘文									
(評)三木紳一郎									
(評)荒川長太郎									
(監)藤田博									
今田光三									
(評)甲田伸一									
(監)青木秀訓									

役員在任一覧

	重任	一般財団移行による解散	財団からの移行による設立	就任	退任
吉津 度					
辻野 直三郎					
太田垣 士郎					
井口 竹次郎					
船橋 儀太郎					
和田 薫					
内藤 芳太郎					
山口 繁夫					
小林 米三					
佐藤 良三					
下井 實次					
辻野 守典					
遠藤 齋彦					
池上 正成					
瀬元 美知男					
浅野 五三男					
角倉 光彦					
清水 邦雄					
澤田 重樹					
中田 義富					
下西 雄二					
相良 武彦	H22. 5.21	H24. 4. 1	H24. 4. 1		
神戸 正雄	H22. 5.21	H24. 4. 1	H24. 4. 1		
久多里 文也	H22. 5.21	H24. 4. 1	H24. 4. 1		
⑨ 塩田 弘文			H24. 4. 1		
⑨ 三木紳一郎			H24. 4. 1		
⑨ 荒川長太郎			H24. 4. 1		
⑨ 藤田 博			H24. 4. 1		R 3. 9.29 死亡
今田 光三				H26. 4. 1	
⑨ 甲田 伸一				R 2. 6.25	
⑨ 青木 秀訓				R 3.11.25	

機構組織の変遷



機 構 組 織 の 変 遷

S35. 3. 1現在		S43. 4. 1現在	S47. 9. 20現在
事務室 (府庁地下室)		事務局 理事兼 山口 繁夫 (大手前分館) 局長	本部事務局 理事兼 山口 繁夫 (天王寺分館内) 局長
ワクチン・ 防疫薬剤等の取扱		防疫資材部 (事務局内) 第1課 課長 池上 正成 第2課 課長 梶田 稔	防疫資材部 (東大阪市中小阪318-11) 次長 池上 正成 課長 梶田 稔
消毒部 (事務室内) 本部 消毒班 阪急 消毒班		第1事業部 (事務局内) 調査課 課長 和田 丑男 環境管理課 ⑩課長 和田 丑男	第1事業部 中央出張所 所長 和田 丑男 (東大阪市下小阪4-12-10) 南地区連絡所 着本 秀一
清掃第1部 ----- (阪急十三駅構内) 池田検車班 (池田詰所) 沿線班 駅掃班 洗濯班	名称 変更	第2事業部 部長補佐 下井 実次	第2事業部 部長補佐 神庭 芳男
清掃第2部 ----- (南海難波駅長室内) 難波駅班 列車区班 沿線班	名称 変更	第3事業部 部長補佐 田中幸太郎 (南海萩之茶屋駅構内)	第3事業部 部長補佐 田中幸太郎

機構組織の変遷

S51. 4. 1現在	S53. 1. 1現在	S63. 9. 1現在
本部事務局 理事兼 局長 山口 繁夫	本部事務局 理事兼 局長 (城東庁舎内) 山口 繁夫	本部事務局 理事兼 局長 (城東庁舎内) 山口 繁夫
防疫資材部 理事兼 部長 池上 正成	防疫資材部 理事兼 部長 池上 正成	防疫資材部 理事兼 部長 池上 正成
第1事業部 理事 遠藤 斎彦 部長 梶田 稔 中央出張所 所長 和田 清孝 阪南出張所 所長 着本 秀一 (泉大津市末広町1-8-20)	第1事業部 部長 梶田 稔 中央出張所 所長 梶田 稔 阪南出張所 所長 着本 秀一 (泉大津市末広町1-8-20)	第1事業部 部長補佐 着本 秀一 中央出張所 所長代理 横田伸一郎 阪南出張所 所長 着本 秀一
第2事業部 理事 山口 繁夫 部長 神庭 芳男	第2事業部 理事 山口 繁夫 部長 神庭 芳男	第2事業部 理事 遠藤 斎彦 部長補佐 岡村 修 ビルメン事業部 理事 遠藤 斎彦 (阪急グランドビル内) 部長補佐 岡村 修
第3事業部 理事 山口 繁夫 部長補佐 田中幸太郎	第3事業部 理事 遠藤 斎彦 部長補佐 田中幸太郎	第3事業部 理事 遠藤 斎彦 (南海難波駅構内) 部長 長谷 喜市
	しろあり対策部 部長 和田 清孝 (中央出張所内)	

機構組織の変遷

H5. 12. 28現在	H16. 5. 21現在	H19. 4. 1現在
本部事務局 局長 馬場 昇	本部事務局 理事兼 下西 雄二 局長	本部事務局 (城東庁舎内) 理事兼 下西 雄二 局長
防疫資材部 部長補佐 濱口 吉弘	防疫資材部 部長補佐 濱口 吉弘	防疫資材部 理事兼 久多里文也 部長
第1事業部 部長補佐 着本 秀一 中央出張所 所長代理 横田伸一郎 阪南出張所 所長 澤田 重樹	第1事業部 中央出張所 所長 仲谷 啓三 阪南出張所 所長 相良 武彦	第1事業部 部長補佐 仲谷 啓三 中央出張所 ⑩所長 仲谷 啓三 阪南出張所 所長 福留 稔
第2事業部 理事 岩田 博 部長補佐 飯田 芳男 ビルメン事業部 理事 岩田 博 部長補佐 飯田 芳男 H12閉鎖		
第3事業部 理事 岩田 博 部長 長谷 喜市		

機構組織の変遷

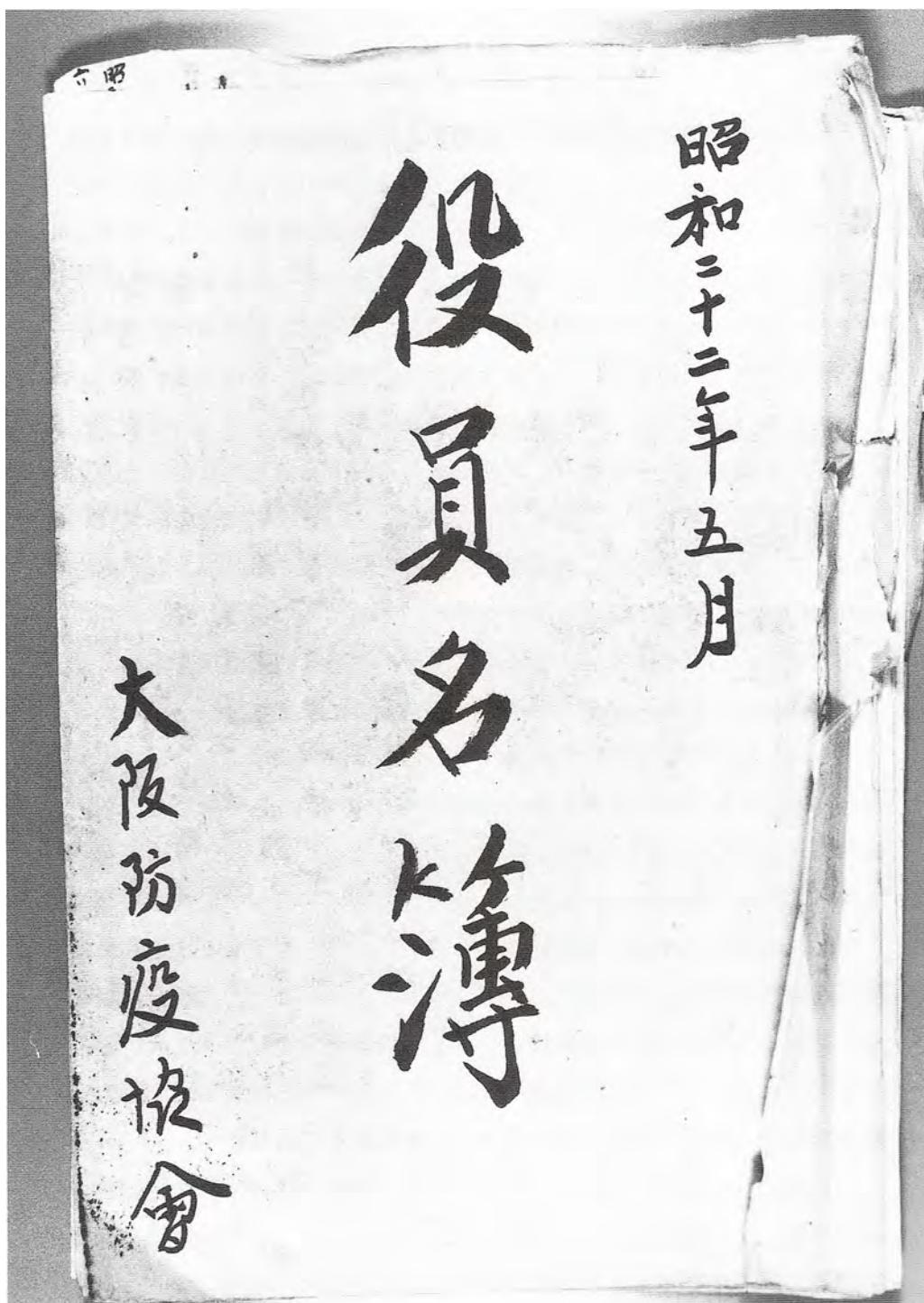
H24. 4. 1現在	H26. 4. 1現在	R3. 4. 1現在
本部事務局 理事兼 神戸 正雄 (中央出張所2階) 局長	本部事務局 理事兼 今田 光三 局長	本部事務局 理事長兼 今田 光三 局長
防疫資材部 課長 新立 憲司	防疫資材部 課長 新立 憲司	防疫資材部 部長 新立 憲司
第1事業部 部長補佐 仲谷 啓三 中央出張所 ⑬所長 仲谷 啓三 阪南出張所 所長 福留 稔	第1事業部 部長補佐 仲谷 啓三 中央出張所 ⑬所長 仲谷 啓三 阪南出張所 所長 福留 稔	第1事業部 中央出張所 所長 北野 正和 阪南出張所 所長 福留 稔

機構組織の変遷

R5. 4. 1現在		
本部事務局 理事長兼 局長 今田 光三		
防疫資材部 部長 新立 憲司		
第1事業部 中央出張所 所長 北野 正和 阪南出張所 所長 石田 臣彦		

設立の経緯





役員名簿 (昭和三十一年五月十五日現在)	
會長	細菌製剤協會關西支部長 吉津 度
副會長	塙野義興藥株式會社社長 塙野義三郎
顧問	大阪鐵道局長 藤谷虎芳
全	大阪帝國大學醫學部教授 谷口胰二
全	大阪府警察部長 鈴木榮二
大阪市助役	秋田坂茂一

昭和二十二年五月

大阪防疫協會設立趣意書並びに規約

大阪防疫協會

●設立 昭和22年5月15日

東区大手前会館に於て発会式を行う。

名称 大阪防疫協会

祝辞 赤間大阪府知事

本日茲に大阪防疫協会の発会式を挙行せらるるに当りお祝いを申上る機会を得ましたことは、私の最も欣快に存ずるところであります。

大阪防疫協会の誕生は大阪に於ける民防疫の力強い一石であると確信します。我憲法の下に於ける行政の在り方については今更ここに多耕を要しませぬが、伝染病予防の行政もその例外であってはなりません。憲法第25条に定められた生命尊重の理念は国民それぞれの自覚によってその実現を期しなければならぬとすれば一而もそれが民主主義であるからには、国民の衛生を役所委せにして、国民自身は無感覚のままであってはならないであります。戦災復興の先駆をなす防疫の仕事、大阪の文化再建の基盤をなす衛生の仕事、民度の低さから今迄兎角無視されていた大阪の衛生の仕事を大阪の民衆の手によって自主的に逞しく前進せしめるために、大阪防疫協会の真剣な御努力をお願い致したい。

民主防疫の先覚者であるという立場から力強い発言権と、積極的な行動とを確保して将来大いに吾々大阪府の当局者を鞭撻して頂きたい。これが私の初なる念願であります。

甚だ簡単ではありますが一言申述べまして衷心から祝意を表します。

昭和22年5月15日 大阪府知事 赤間文三

祝辞 近藤大阪市長

本日茲に大阪防疫協会の発会式を挙行せらるるに方りまして一言祝辞を申し述べる機会を得ました事は私の最も欣幸とする所であります扱て吾等の郷土大阪を悪疫なき健康都市たらしめ更に進んでは戦前に勝る模範衛生都市としてその復興再建に寄與することこそ目下焦眉の急務であります。

然るに終戦後混乱疫憊の状態と生活環境の不潔により悪疫の蔓延を見ました事は誠に遺憾とする所であります。この秋に方り衛生問題に關係深き同憂の士により各般の防疫事業を展開し防疫を通じて文化日本の再建に貢献する本協会の発足を見ました事は洵ら意義あるものと言わねばなりません。各位に於かれましてはよく本会の使命を体せられその防疫施策に協力し伝染病防護に或は衛生思想の普及啓發に民主防疫の先駆となつて活躍し顕著なる業績を示されんことを切望して已みません。

以上聊か所懐の一端を申し述べて祝辞と致します。

昭和22年5月15日 大阪市長 近藤博夫

設立趣意書

文化日本の速やかな再建は敗戦日本の全国民賛しく希求するところであり、その基盤をなす日本の保健衛生状態の建直しは急務である。

敗戦後の日本は文化が後退し、衛生状態が頓に悪化し伝染病の流行が国民生活の混乱に拍車をかけ、文化の再建を妨げている。伝染病の脅威から脱却し得ずしてどこに文化日本の面目があり、文化再建の道を見出し得るか、特に産業都大阪の防疫の問題は大阪の文化再建に當って最初に考慮しなければならぬ重要な課題でもある。

伝染病の無い国日本の建設を理想に當局が実施する各種の伝染病予防対策に呼応して自ら積極的に立上り、大いに之に協調して各般の防疫事業を強力に展開し防疫を通じて日本の文化再建に寄與貢献しようとするのが大阪防疫協会の狙いであり大阪府市衛生當局と提携し且之と表裏一體の関係に立って活躍することが吾々の念願でもある。

敢て同志諸賢の御奮起と御賛同を切望する。

役(職)員

会長	細菌製剤協会関西支部長	吉津度
副会長	塩野義製薬株式会社社長	塩野義三郎
顧問	大阪鉄道局長	薮谷虎芳
〃	大阪帝国大学医学部教授	谷口腆二
〃	大阪府警察部長	鈴木栄二
〃	大阪市助役	秋元保一
〃	大阪府医師会会长	菊地米太郎
〃	大阪府歯科医師会会长	緒方終造
〃	大阪府薬剤師会会长	黒田重平
理事	大阪府衛生部防疫課長	井手正典
〃	〃 庶務課長	福原忠夫
〃	大阪府警察部警務課長	松本良祐
〃	〃 保安課長	山口行太郎
〃	大阪市保健部防疫課長	湯浅高義
〃	日本百貨店組合大阪支部長	飯田慶三
〃	大阪府勤労給食聯合会理事長	原仙吉
〃	鐘渕紡績株式会社淀川支店長	岡田耕
〃	細菌製剤協会関西支部長	吉津度
〃	大阪府医師会専務理事	野中幸夫
〃	大阪府歯科医師会専務理事	田中芳男
〃	大阪府薬剤師会専務理事	谷川潭治
〃	塩野義製薬株式会社社長	塩野義三郎
〃	大阪興行協会会长	白島長太郎
監事	大阪府衛生部長	土田哲太郎
〃	大阪市保健部長	熊谷謙三郎
〃	京阪神急行電鉄株式会社社長	太田垣士郎
幹事	大阪府衛生部防疫課課長代理	吉田新治
〃	〃 総務係長	上島五郎
〃	〃 防疫係長	堀道紀
〃	〃 課長付	古川元
〃	大阪市保健部防疫課防疫係長	古賀仙吉
職員主事		久保源馬
〃		辻野直三郎
〃 書記		太田秀雄

事務室 大阪府庁 1階 防疫課内

◎昭和24年5月13日決定の役（職）員

役名	他所役（職名）	氏名
会長	細菌製剤協会関西支部長	吉津 度
副会長	塩野義製薬株式会社社長	塩野 義三郎
顧問	大阪大学医学部教授	谷口 肇二
〃	大阪市助役	田坂 茂忠
〃	大阪市警察局長	鈴木 栄二
〃	大阪府医師会会长	吉松 信廣
〃	社団法人大阪府歯科医師会会长	陸正之
〃	大阪府薬剤師協会会长	村上 信三
監事	大阪府衛生部長	土田 哲太郎
〃	京阪神急行電鉄株式会社社長	太田垣 士郎
理事長	大阪府衛生部防疫課長	井手 正典
理事	〃 薬務課長	井澤 清篤
〃	〃 公衆衛生課長	志水 清
〃	〃 庶務課長	足立 利雄
〃	〃 衛生施設課長	鶴崎 敏胤
〃	大阪市警察局警務部長	松本 良祐
〃	大阪瓦斯株式会社社長	井口 竹次郎
〃	日本デパートメントストア協会理事	飯田 慶三
〃	大阪府医師会専務理事	湖崎 清一
〃	社団法人大阪府歯科医師会専務理事	田口 芳男
〃	大阪府薬剤師会副会長	細部 新一郎
〃	大阪興行協会会长	
幹事	大阪府衛生部防疫課長代理	林淳
〃	〃 薬務課長代理	棚次 清光
〃	〃 公衆衛生課長代理	富岡 敏男
〃	〃 庶務課長代理	吉田 新治
〃	〃 施設課長代理	寺田 伴嗣
〃	〃 防疫課資材係長	平井 貞男
職員	主事	辻野 直三郎
〃	薬剤師	太田 金次郎
〃	書記	山口 繁夫
〃	雇	野端 美代子

●改組 昭和24年11月18日 公益法人に

名称 財団法人大阪防疫協会

役員

(初代) 理事長	吉津 度
常任理事	辻野 直三郎
理事	船橋 儀太郎
理事	太田垣 士郎
理事	井口 竹次郎
監事	塩野 義三郎
監事	野田 新次郎

事務室 大阪府庁地下室

設立許可書

大阪府司令衛庶第761号

大阪市福島区上福島南1丁目48番地

吉津 度

昭和24年11月12日づけ申請財団法人大阪防疫協会設立の件は民法第34条により許可する

昭和24年11月18日 大阪府知事 赤間文三

印

設立許可申請書

財団法人設立許可申請書

今般生前処分の寄付行為により財団法人大阪防疫協会を設立致したいですから御許可下さる様
民法第34条により関係書類を添え茲に申請致します

昭和24年11月12日

大阪市東区大手前之町 大阪府庁地下室

大阪防疫協会 設立者 吉津 度

大阪府知事 赤間文三殿

添付書類 (寄付行為、設立趣意書、設立委員会議事録、収支予算書、事業計画書、理事就任承諾書、建物使用承諾証明書下付願、役員履歴書、財産目録)

設立趣意書

財団法人大阪防疫協会設立趣意書

文化日本の速やかな再建は終戦後全国民の齊しく希求するところでありその基盤をなす日本の保健衛生状態の建直しは睫毛の急務である

敗戦後の日本は文化が後退し衛生状態が頓に悪化し伝染病の流行が国民生活の混乱に拍車をかけ文化の再建を妨げている伝染病の脅威から脱却し得ずしてどこに文化日本の面目があり文化再建の道を見出だし得るか特に産業都大阪の防疫の問題は大阪の文化再建に當って最初に考慮しなければならぬ重要な課題でもある

伝染病の無い国日本の建設を理想に當局が実施する各種の伝染病予防対策に呼応して自ら積極的に立上り大いに之に協調して各般の防疫事業を強力に展開し防疫を通じて日本の文化再建に寄與貢献しようとするのが大阪防疫協会の狙いであり大阪府市衛生當局と提携し且之と表裏一體の関係に立って活躍することが吾々の念願でもある

以上の目的念願を以て大阪防疫協会は同憂同志を糾合して昭和22年5月15日之が發会式を挙行爾來資金資材等幾多の困難に逢着しながらも微力以て今日迄活動し來ったのであるが今回発展的解散を行いここに財団法人大阪防疫協会を設立し愈々初期の目的に向って邁進せんとするものである

その他参考文書

設立委員会議事録

一、日時 昭和24年11月2日 自午1時30分

至午4時30分

一、場所 大阪府庁内 大阪防疫協会

財団法人大阪防疫協会設立者並びに委嘱を受けたる全委員出席したるを以て設立者吉津度は財団法人設立に就ての委員会開会を宣し吉津度議長となり議事を進行す

議案審議

第一号議案 定款決定の件

議長吉津度は自己の起草したる生前処分の寄付行為按分を朗読説明を加えたる結果全委員了解し別紙の通り決定す

第二号議案 初年度事業計画決定の件

原案作成者吉津度の説明により別紙の通り決定す

第三号議案 収支予算決定の件

原案作成者吉津度の説明により別紙の通り決定す

第四号議案 理事、監事委嘱の件

議長吉津度は理事、監事、常任理事を下の通り委嘱したるに何れも承諾を得たり

理事 太田垣 士郎

理事 井口 竹次郎

理事 船橋 儀太郎

常任理事 辻野 直三郎

監事 塩野 義三郎

監事 野田 新次郎

事業計画書

一、防疫思想及び防疫知識の普及啓発

二、防疫工作の実施

三、防疫並に衛生資材及び薬剤の斡旋

四、防疫に関する調査並びに研究

五、その他防疫並びに公衆衛生上必要と認めた事項

建物使用承諾証明書下付願い

大阪府庁地下室

財団法人 大阪防疫協会

財団法人設立申請手続上必要がありますので右場所の使用を御承諾下さっていることを御證明願います

昭和24年10月21日

財団法人大阪防疫協会

設立者 吉津 度

大阪府知事 赤間文三殿

庶第572号 右の通りに相違いないことを証明する

昭和24年10月25日 大阪府知事 赤間文三

設立の経緯（前理事長辻野直三郎の手記より）

財団法人大阪防疫協会設立経緯

初代理事長吉津度（大阪細菌研究所経営、元大阪府会議長、元大阪市会議員、元大阪府医師会長その他の要職にあった方）先生から直接お聞きしたことである。

終戦後マッカーサーによって在来の諸団体は所謂第二世界大戦遂行に協力したとの理由で衛生諸団体も解散を命ぜられた所が戦後の衣食住の不足特に衛生関係については発シンチフス痘そうその他の伝染病が続発した。これらの伝染病については、占領軍は勿論諸官庁も一斉に活動した事は勿論であるがこれに協力する民間団体が皆無である為これを補助協力する団体の必要があることが痛切に認められ当時大阪に進駐していた衛生官スペンサー氏が民間団体成立の必要性を大阪府に伝えられこれをけいきとして吉津先生その他民間の大会社等が発起人となって組織することとなった。

設立準備について

防疫協会設立（昭和22年5月15日）に先立って久保氏と自分が設立準備に従事することになった。事務室は防疫課（現環境衛生課）の一隅に机一個を借受け2月より従事したのであったが、事務はなかなか進展しなかった。

その後、設立事務は難航したがとにかく形式的にも一応発会式を挙げなければ立消える虞さえ見えはじめたので発会式を挙げる事となったが一銭の金もない。大阪府からも一銭の補助もないでしかたなしに自分が発会式の費用五万円を副会長に予定していた塩野義製薬株式会社の社長（前代）に借用して来てようやく形式的に一応大阪防疫協会（任意団体）として成立をしたのである。ところが設立10ヶ月にして早くも久保氏は辞職阪急百貨店保安課長に転出した。自分も吉津会長に辞職の申出をしたところ「君がやめたらようやく出来た協会もつぶれてしまうから思い止どまって苦しかろうが不信の協会の為盡してくれ」と説得され協会にのこってこの意義ある社会的な事業に盡すこととなった。

財団法人組織へ

昭和24年秋頃になって大阪府から対外的に必要であるから財団法人に組織変更するようとの指示があつてこれに従つて必要書類を提出。昭和24年11月18日ここに財団法人大阪防疫協会として法的基礎が出来上つた。その時の寄付行為財団は一金50万円也で内一金20万円也が現金で大和銀行大手支店へ基金として預金を了した。今は故人となられた吉津先生が初代理事長となった。

大阪府と金銭契約

大阪防疫協会の経費としては会費と大阪府が当時統制経済下にあったのでワクチン類の医薬品は府がチケットを発行協会が現品を市町村役場に現品交代代金を收受して大阪府に納入その間手数料を（破損料、人件費を含む等）頂く事となり知事、理事長間の契約によりやや協会の基礎が安定することとなった。

それも2年近くにして自由販売その後は全く自由競争となり自立自営今日に至つた。かかる理由で大阪府から部屋地下室をお借りした外は何等金銭的補助は一銭も受けた事なくむしろ協会の基礎安定前より大阪府の外郭団体として盡して來たのである。この事情を一部の者は誤解しておる様で為念記する。（補助金交付受けた事なし）

俸給等

故久保源馬氏は府の冷淡な態度に設立後わずか10ヶ月（昭和23年財団組織前）に退職した様に協会の財源は極めて貧困であった為自分も財団と共に常任理事に就任したが俸給は吉津理事長より名は常任理事であるが俸給は職員なみの俸給であるが、どうか辛抱して協会社会事業の為働いてくれとしばしば慰められたものであった。一時は家族の事を思い友人より公安調査庁に就職する様履歴書をタイプライターにして捺印を迫られた事もあったが遂に協会にふみ止どまって外郭団体の信用を保持する決心となり経済的物質的諸種のいい知れぬ苦労を得てようやく一般にも事業を認められるに至つた。

事業内容

一、医薬品販売事業（別紙に事情記載）

主として防疫関係のワクチン、医薬品取扱

二、消毒事業

電車・バス・ビル・劇場その他一般民家の衛生害虫駆除

三、清掃事業

電車・駅便所その他一般殺鼠事業

公益事業

一、ネズミ駆除月間の成績優良市町村個人に対する表彰品授与

二、大阪府衛生婦人奉仕会に対する財政援助

三、各種文書、広告、手拭その他による防疫宣伝

四、その他大阪府衛生部主宰事業の協力活動

●移行 平成24年4月1日 一般財団法人に

名称 一般財団法人大阪防疫協会

本部事務所 中央出張所2階

理 事 長	久多里 文也
理事兼事務局長	神 戸 正 雄
理 事	相 良 武 彦
監 事	藤 田 博
評 議 員	塩 田 弘 文
評 議 員	三 木 紳一郎
評 議 員	荒 川 長太郎

沿革



- 昭和22年5月 任意団体 大阪防疫協会設立（事務所：大阪府庁内）
- 昭和23年10月 医薬品販売業許可（医薬品全般）
- 昭和24年11月 財団法人 大阪防疫協会と組織を改める
- 昭和24年12月 初代理事長 吉津度が就任（細菌製剤協会関西支部長）
- 昭和26年9月 京阪神急行電鉄の防疫衛生作業開始
- 昭和30年11月 南海電気鉄道駅の清掃作業開始
- 昭和32年11月 旅客自動車（バス、タクシー）の車内消毒事業開始
(昭和31年8月 運輸省令第44号による)
- 昭和33年5月 理事長職代行の辻野直三郎が新理事長に就任
- 昭和41年2月 理事長辻野直三郎は(社)環境衛生コンサルタント協会（現、(一社)大阪府ペストコントロール協会）の設立発起人となり設立にあたり2代目理事長に就任、その発展に尽力する（写真5）
- 昭和41年4月 大阪府より経口生ポリオワクチンの取扱い委託
- 昭和43年11月 中央出張所新舎屋完成（中央出張所開設）
東大阪市中小阪318-11（現防疫資材部）（写真4）
- 昭和47年3月 理事長辻野直三郎は(社)日本ペストコントロール協会の設立発起人となり設立にあたり理事長に就任、その発展に尽力する
- 昭和47年9月 中央出張所新舎屋完成移転
移転先：東大阪市中小阪295-3（現：東大阪市下小阪4丁目12番10号）（写真2）
防疫資材部大阪府庁内より、旧中央出張所舎屋へ移転
- 昭和48年1月 機関誌「まこと」創刊
- 昭和48年4月 阪南出張所を新設 泉大津市森330-3（現：泉大津末広町1丁目8番20号）
(写真3)
- 昭和50年5月 厚生大臣より空気環境の測定を行う者の指定を受ける
(昭和46年厚生省令第2号第3条第3項による)
- 昭和51年9月 本部事務所を移転
(移転先：大阪府城東庁舎内)（写真1）
- 昭和52年2月 厚生大臣より貯水槽の掃除を行う者の指定を受ける
(昭和46年厚生省令第2号第4条第3項による)
- 昭和54年3月 厚生大臣より簡易専用水道の管理についての検査を行う者の指定を受ける
(水道法第34条の2第2項)
- 昭和56年4月 ビルメン事業部を新設
(事務所：阪急グランドビル地下3階)
- 昭和58年7月 辻野直三郎理事長が退任 新理事長に辻野守典が就任
名誉理事長に辻野直三郎が就任
- 昭和61年11月 阪南出張所事務所建替される

平成9年1月	中央出張所の増設完成
平成12年11月	辻野守典理事長が退任 新理事長に澤田重樹が就任
平成14年4月	ホームページを作成・掲載
平成16年3月	厚生労働大臣より簡易専用水道の管理についての検査を行う者の登録を受ける (改正水道法第34条の2第2項)
平成17年8月	澤田重樹理事長が退任 新理事長に相良武彦が就任
平成24年4月	新公益法人法に基づき一般財団法人の認可を受ける 本部事務局を中央出張所に移転(東大阪市下小阪4丁目12番10号) 相良武彦理事長が退任 新理事長に久多里文也が就任
令和2年6月	久多里文也理事長が退任 新理事長に今田光三が就任
令和4年10月	機関誌「Makoto」第200号発刊

協会章



写真1. 旧大阪府城東庁舎
(庁舎内に本部事務所)





写真2. 本部・中央出張所



写真3. 阪南出張所



写真4. 防疫資材部

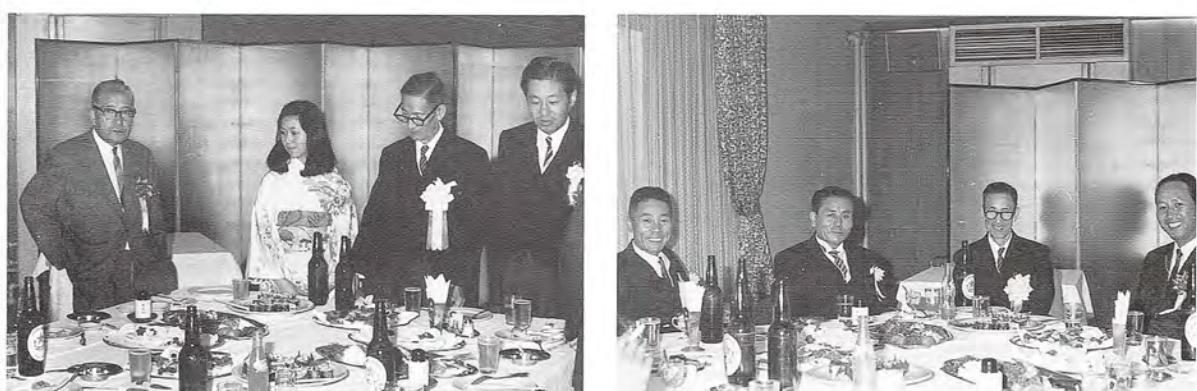
第一事業部阪南出張所開所記念 (S. 48. 4. 1)



第一事業部中央出張所落成記念植樹 (S. 49. 11)



写真5. 現一般社団法人大阪府ペストコントロール協会発会式
(2代目辻野理事長が設立発起人) (S. 41. 2)



一般社団法人大阪府ペストコントロール協会 歴代会長



初代会長 山 本 誠 一
(S41.2.11～S42.3.31)



二代目会長 辻 野 直三郎
(S42.4.1～S49.3.31)

協会設立発起人メンバー
大阪城ねずみ駆除作戦実施

協会設立発起人メンバー
社団法人認可
万国鼠族昆虫駆除施工管理を受託



三代目会長 桑 野 太 郎
(S49.4.1～S63.5.31)



四代目会長 田 中 由 夫
(S63.6.18～H4.2.27)

協会設立発起人メンバー
災害緊急出動隊編成
万博へ記念植樹
大阪城博覧会鼠族昆虫防除作業

花の万博EXPO90' 会場の
有害生物防除



五代目会長 黒 澤 敬
(H4.2.28～H12.2.22)

協会設立発起人メンバー
関西国際空港ねずみ防除作業統括管理
全国に先駆けて「ムシムシ害虫相談」を開始
大阪府要請セアカゴケグモ緊急実態調査及び防除
病原性大腸炎菌O-157業務受入態勢整備

公益社団法人日本ペストコントロール協会 歴代会長



辻 野 直三郎
(S47.5.12～S49.5.27)



元 木 三喜男
(S49.5.28～S59.5.23)



山 本 典 生
(S59.5.24～H4.5.20)



佐 藤 治
(H4.5.21～H8.5.22)



林 庄 一
(H8.5.23～H12.5.30)



黒 澤 敬
(H12.5.31～H16.5.31)

第一事業部

〈主な業務〉

1. 殺菌消毒処理、防カビ施工
2. ネズミ、ゴキブリその他昆虫等の防除と管理
3. 白蟻の防除、予防施工
4. 樹木の害虫防除
5. 旅客自動車（タクシー、バス）の定期消毒（自動車運送事業等運輸規則による）
6. 多人数集合場所の殺菌消毒、空気環境測定
7. 簡易専用水道の法定検査（水道法第34条の2 第2項の規定による）
但し大和川以南の堺、泉州、南河内地区指定のため阪南出張所のみ担当
8. ネズミ、衛生害虫等の調査研究と学会発表





防疫資材部

〈主な業務〉

1. ワクチン類、及び防疫薬剤の販売

イ. 予防接種法に定められた各種ワクチン

日本脳炎ワクチン、麻しんワクチン、風しんワクチン、沈降ジフテリア・破傷風混合トキソイド、沈降百日咳・ジフテリア・破傷風混合ワクチン



ロ. 急性灰白髄炎（ポリオ）の府の受注業務の代行

ハ. その他のワクチン

水痘ワクチン、インフルエンザHAワクチン、組換え沈降B型肝炎ワクチン



ニ. 診断剤

水痘抗原

ホ. 抗毒素類

乾燥まむしウマ抗毒素

乾燥破傷風ウマ抗毒素

ガスえそウマ抗毒素の備蓄

(国有管理ワクチン)



ヘ. 防疫薬剤の取扱

各種乳剤・油剤・粉剤・粒剤

フェニトロチオン、ジクロルボス、テメホス、フェンチオン、ダイアジノン、ピリダフエンチオン、オルトジクロロベンゼン、フタルスリン、ピリプロオシフェン

2. 災害時対策用薬剤の備蓄

クレゾール石鹼液

協会概要

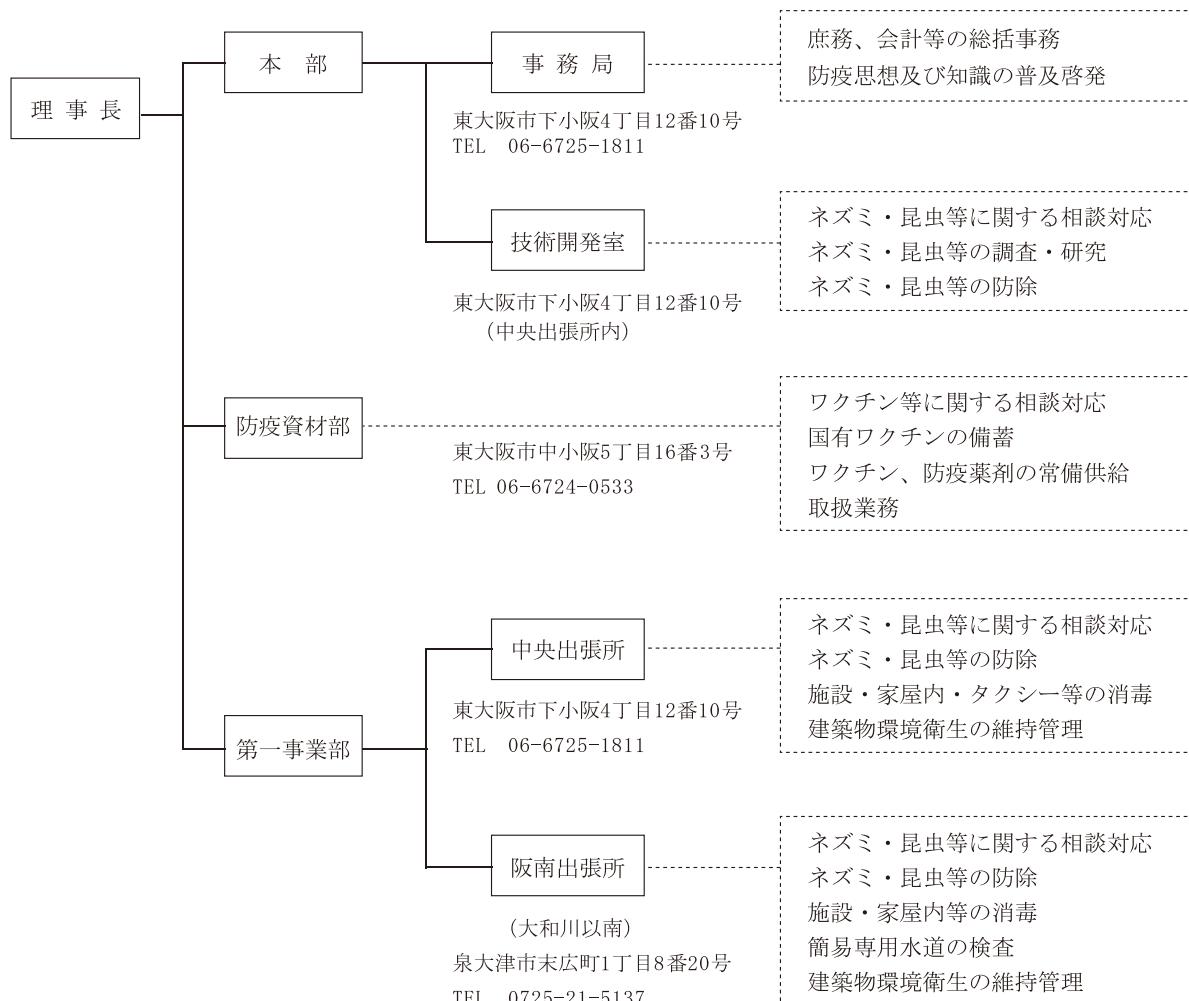


協会の目的

大阪府及び府下市町村の防疫施策に協力して、感染症の予防並びにその他公衆衛生に関する事業を行い、文化の発展に寄与することを目的とする。前記の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 防疫に関する相談
2. 防疫用国有ワクチンの備蓄
3. 防疫思想及び防疫知識の普及啓発
4. 防疫に関する調査並びに研究
5. 防疫並びに衛生資材及び薬品の斡旋
6. ネズミ・昆虫等の防除並びに屋内・タクシー等の消毒
7. 簡易専用水道の検査
8. 建築物環境衛生の維持管理
9. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

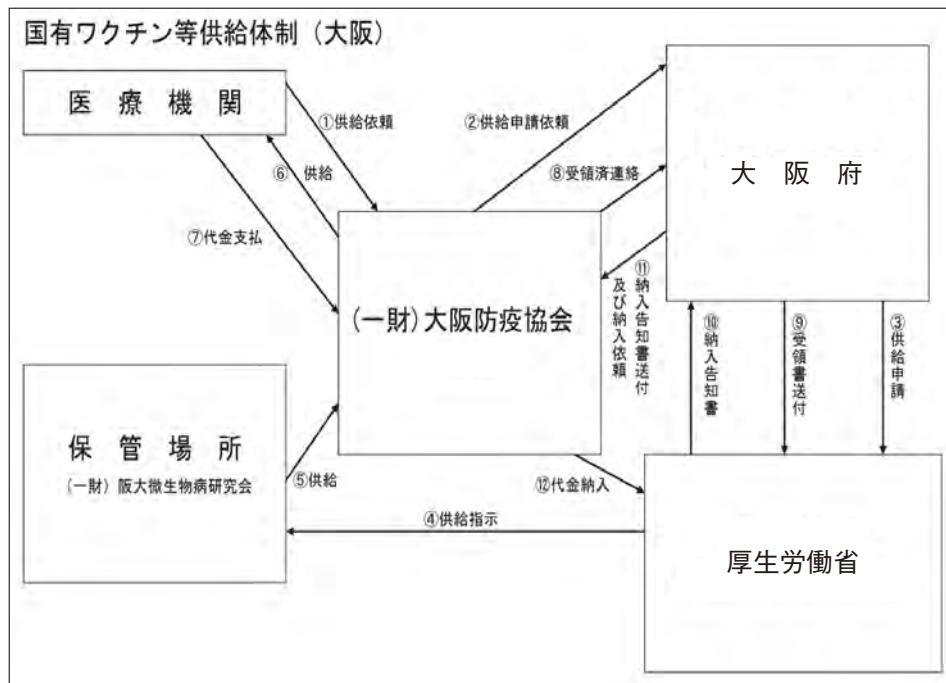
機構及び業務分担表



公益活動

● 国有ワクチン等の供給など大阪府の代行業務

当協会設立当初より、国有ワクチン等について大阪府の代行業務を行い、安定供給に努めてまいりましたが、1988年、大阪府からの協力要請に基づき、非常時に迅速・的確な供給を行うための体制を新たに確立しました。



● 防疫用国有ワクチンの備蓄等

乾燥ガスえそウマ抗毒素（国有ワクチン）の適切な備蓄に努め、適正温度を保持し、万全の供給体制に努め、病院より患者発生の緊急連絡に即応して迅速な供給に努めました。また、その他の国有ワクチン（乾燥ジフテリアウマ抗毒素、乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン、乾燥ボツリヌスウマ抗毒素（A B E F型）、乾燥ボツリヌスウマ抗毒素（E型）について大阪府と供給体制を確立し、緊急時に備えました。

● 防疫に関する相談

ワクチンの効果や副作用に関する相談、ネズミ・昆虫等の被害や対処法に関する相談、殺菌・消毒に関する相談業務などを実施しております。

● 防疫思想及び防疫知識の普及啓発

公衆衛生思想の向上を図るため、年4回（1月、4月、7月、10月、計7200部）機関誌「*Makoto*」を発行し、厚生労働省、環境省、全国自治体の衛生行政関連部署、国立感染症研究所・地方衛生研究所等研究機関、関係医療機関、各大学、大阪府教育委員会、大阪府警察本部・府下警察署及び各関係諸団体等に配布するとともにホームページにも公開しています。

ホームページの更新も隨時おこなっており、機関誌「*Makoto*」の紙上啓発内容、講演会の講演内容、防疫に関する調査・研究の学術成果、その他ワクチン・ネズミ・昆虫等に関する情報を提供しています。

大阪大学附属図書館学術情報庫OUKA（大阪大学の機関リポジトリ）に機関誌「*Makoto*」全号（創刊号～現在号）が登録・公開されています。

● 防疫に関する調査並びに研究

ネズミ・昆虫等に関する調査・研究、ダニ類に関する調査研究を行い、その研究成果を機関誌「*Makoto*」への掲載、及びホームページなどにて公開しています。また、講演会などにも活用し、公衆衛生の普及啓発にも努めています。さらに、日本防菌防黴学会、日本環境動物昆虫学会、日本ペストロジー学会などの各学会に発表しています。

大阪大学附属図書館学術情報庫OUKA（機関リポジトリ）にも学術成果（機関誌）が登録・公開されており、ここからでも閲覧可能です。

● その他

簡易専用水道の管理、検査についてパンフレットによる周知・啓発、また、大阪府や各市町村が実施する下記の公衆衛生活動に協力しています。

ゴキブリ駆除強調月間（6月）、セアカゴケグモ等対策月間（7～8月）、総合ネズミ駆除強調運動（1～2月）

◎ 当協会は、公衆衛生の向上に寄与した功績をもって、内閣総理大臣、厚生大臣、大阪府知事等から表彰を受けています。

また、元理事長辻野直三郎は、環境衛生功労者として、昭和46年11月3日に勲5等に叙せられ瑞宝章を受けられました。

事業概要

● 生物学的製剤の常備並びに供給

各種感染症の予防ワクチン類（定期・任意）を常備しております。

MRワクチン（麻疹・風疹）、日本脳炎ワクチン、四種混合ワクチン（百日咳・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ）、三種混合ワクチン（百日咳、ジフテリア、破傷風）、二種混合トキソイド（ジフテリア・破傷風）、インフルエンザH Aワクチン（ビケンH A、フルービックH Aバイアル、シリソジ）、水痘ワクチン（水ぼうそう）、破傷風トキソイド、ジフテリアトキソイド、おたふくかぜワクチン、A型肝炎ワクチン、B型肝炎ワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチン（小児用・成人用）、子宮頸がんワクチン、ロタウイルスワクチン、BCGワクチン、水痘抗原（診断薬）等。

● 防疫用薬剤の取り扱い

殺虫剤、殺鼠剤、忌避剤、殺菌消毒剤、消臭剤など厳選された薬剤を納入するよう心がけています。

・防護用殺虫剤

有機リン系殺虫剤（フェニトロチオン、フェンチオン、プロペタンホス）、ピレスロイド系殺虫剤（フェノトリン、ペルメトリン）、ピレスロイド様殺虫剤（エトフェンプロックス）、カーバメイト系殺虫剤（プロポクスル）、IGR剤（ピリプロキシフェン、メトプレン、ジフルベンズロン）等、その他、アミジノヒドラゾン系、ネオニコチノイド系殺虫剤等

・殺鼠剤、忌避剤

クマリン系殺鼠剤（ワルファリン、クマテトラリル）、忌避剤（味覚忌避：シクロヘキシミド、カプサイシン）等

・殺菌消毒剤、消臭剤

グルタラール、エタノール、塩化ベンザルコニウム等

● ネズミの防除と管理

ネズミによる被害は、食品や建材等、物を齧られる直接的な害だけでなく、食中毒菌の媒介や寄生虫によって感染症を引き起こしたりするなど、きわめて大きく様々です。

ネズミを防除し、それからいかにして快適な生活を守るか切実な問題です。

専門の技術者が訪問し、状況に応じて殺鼠剤、器具類、忌避剤を使用し、適切で効果的な防除を実施します。

● ゴキブリ等衛生害虫及びその他の節足動物の防除と管理

ゴキブリは、汚物でも餌とし不潔な場所を往来したり、その脂ぎった体表で、突如出没し、素早く動き回ったりすることで、不快感を与え、忌み嫌われます。

近年、住宅の気密性・断熱性が向上し、一年を通じて快適に暮らせる反面、ゴキブリにとっても生息しやすい状況となり、殆ど年中みられるようになりました。

また、蚊、ノミ、トコジラミなどの吸血性の昆虫なども温暖化の影響で北限域が広がったり、気温が下がらず遅くまで発生が認められたり、殺虫剤抵抗性の問題で駆除効果が上がり難い被害が増え

てきています。

さらに、温暖化や山間部への宅地開発化と考えられる影響でハチやムカデ類による被害も増えてきています。

これらの被害に対し、専門の技術者が訪問し、より適切で効果的な防除法を選択し実施します。

● ダニ検査及び生物質異物混入検査、昆虫同定

住まいの中には、アレルギー疾患の原因ダニであるチリダニ類や痒みの原因となるツメダニ類、外部寄生性で吸血性のイエダニなど様々な種類のダニがいます。

これら住環境のダニ類検査を行い、被害の原因を調査いたします。

また、食品などの製造施設では、ダニによる痒み症や昆虫の食害など直接的な被害はもとより、それらが製品に混入することにより、大きな経済損失を招き衛生管理が問われることとなります。

これらの問題を解決するために、専門の技術者が異物を同定し、原因を究明するとともに、生態学的見地から適切なアドバイスを行い、侵入経路や混入過程を推察し、判定いたします。そして、必要に応じて防除まで行います。

● 樹木害虫の防除

殺伐とした都市環境では、緑の必要性がますます痛感されます。

学校や公園、街路樹などに発生するアメリカシロヒトリやマツカレハなどは、時として大量発生し、樹木を丸坊主にして美観を損ねます。

また、それだけでなく人に皮膚炎を起こすドクガ類や刺されると疼痛を与えるイラガ類なども厄介な害虫です。

これらを駆除するための殺虫剤の使用にあたっては、飛散防止に配慮するとともにむやみに薬剤を散布するのではなく、最小限の範囲にとどめるなど、専門の技術者が適切な作業を実施します。

● 殺菌消毒処理

病院・福祉施設・公共施設・事務所及び一般家庭の殺菌消毒処理を専門技術者が適切に行います。

- ・医療関連施設の殺菌消毒と効果判定
- ・食堂、食品工場等の食品関連施設等の殺菌消毒
- ・自動車運送事業等によるタクシー、バスの車内消毒

● 簡易専用水道の法定定期検査

水道法34条の2第2項の規定による「簡易専用水道」の施設管理についての検査機関として厚生労働大臣の登録を受け、大阪府下に設置されている同水道の定期検査を実施しています。

● 建築物等の環境衛生

公共施設、民間施設や鉄道施設などの多人数集合施設について、メンテナンスを実施しています。

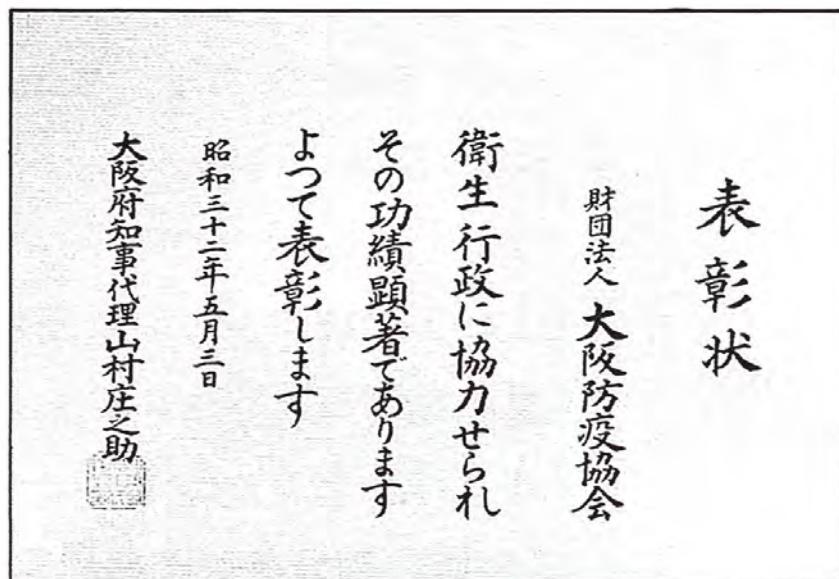
- ・ネズミ、昆虫等の防除及び管理
- ・建築物衛生法に基づく室内空気環境測定

表彰状・感謝状





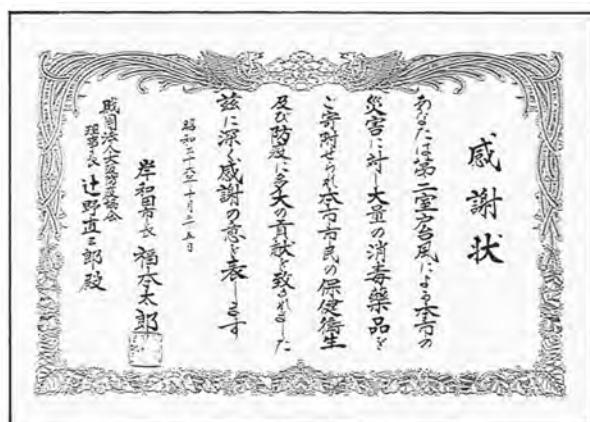
昭和46年11月 勲五等に叙される



昭和32年5月 大阪府知事より表彰状



昭和32年10月 (財)日本公衆衛生協会より表彰状



昭和36年10月 岸和田市長より感謝状



昭和37年5月 大阪府知事より表彰状



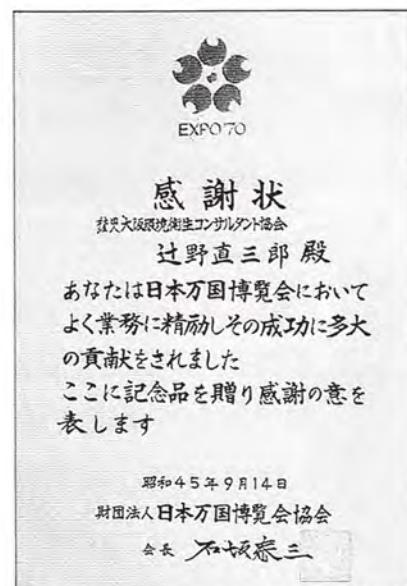
昭和41年9月 (財)日本公衆衛生協会より表彰状



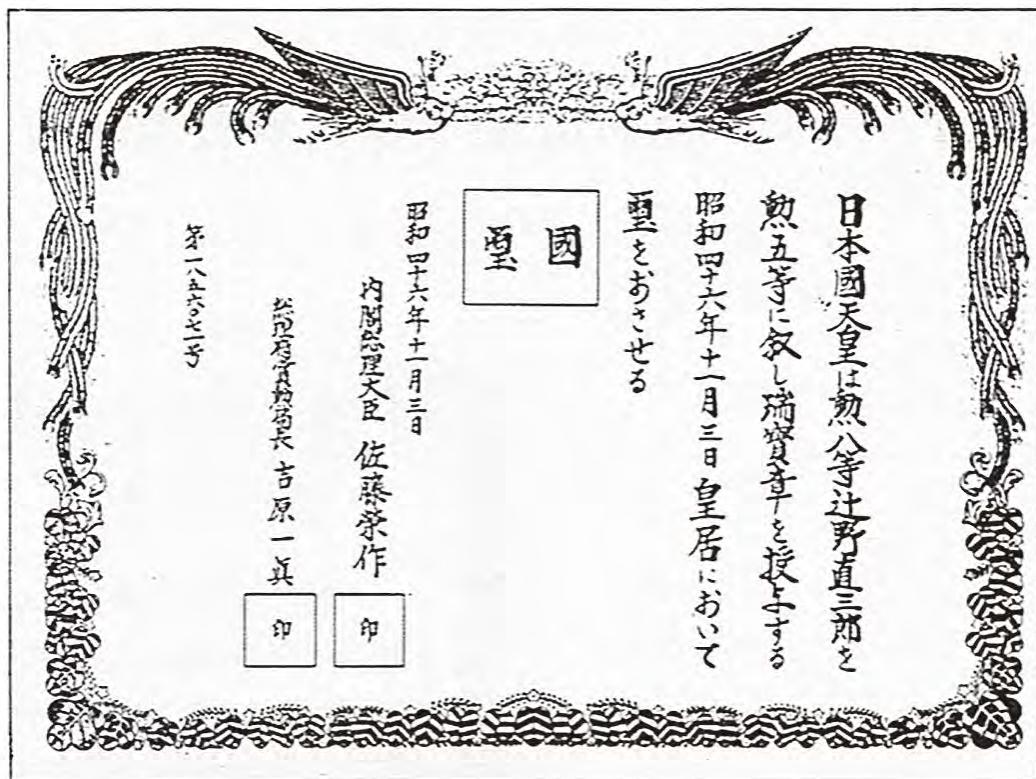
昭和41年10月 (財)日本公衆衛生協会より表彰状



昭和42年8月 大阪府知事より感謝状

昭和45年9月
(財)日本万国博覧会協会会长より感謝状昭和45年9月
万国博推進運動大阪連絡協議会会长より感謝状

昭和45年11月 富田林市長より感謝状



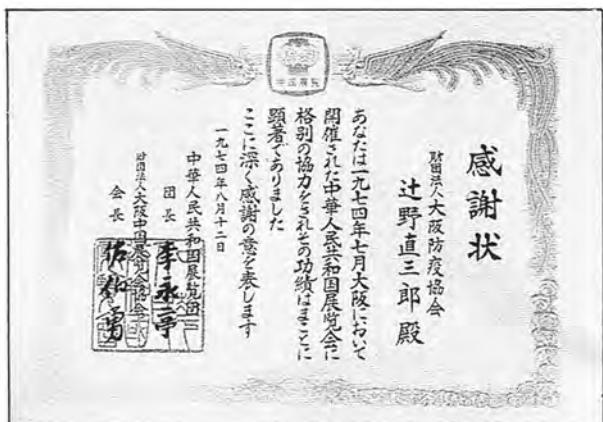
昭和46年11月 勲五等に叙し瑞宝章授与



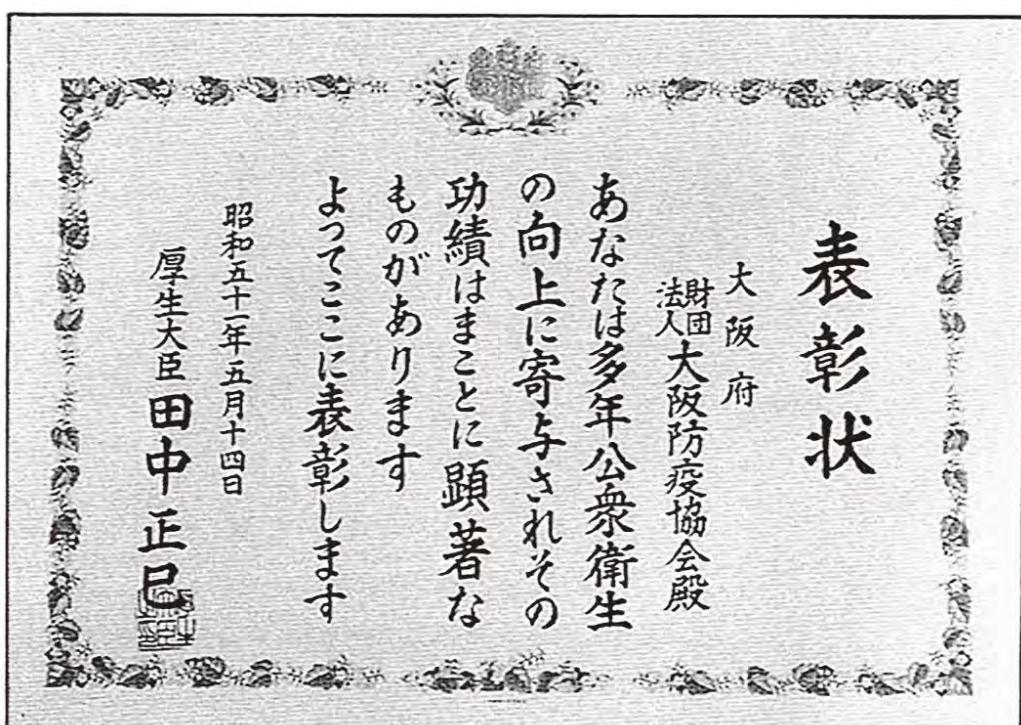
昭和47年3月
(社)大阪衛生婦人奉仕会より感謝状



昭和47年9月 枚方市災害対策本部長より感謝状

昭和49年8月 中華人民共和国展覧団長、
(財)大阪中国展覧会協会会長より感謝状昭和50年2月
(財)日本公衆衛生協会より感謝状

昭和51年3月 (社)日本ペストコントロール協会より表彰状



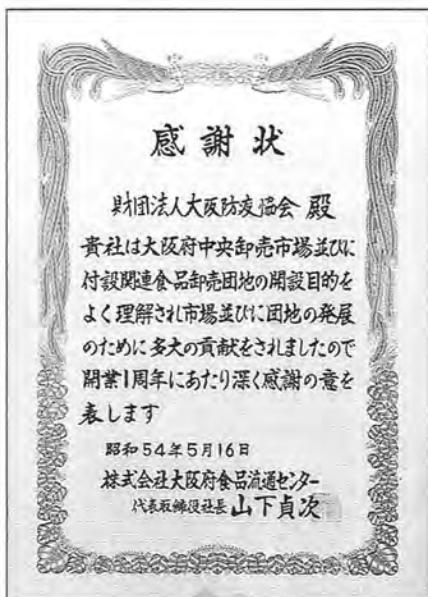
昭和51年5月 厚生大臣より表彰状



昭和52年10月 大阪府知事より感謝状



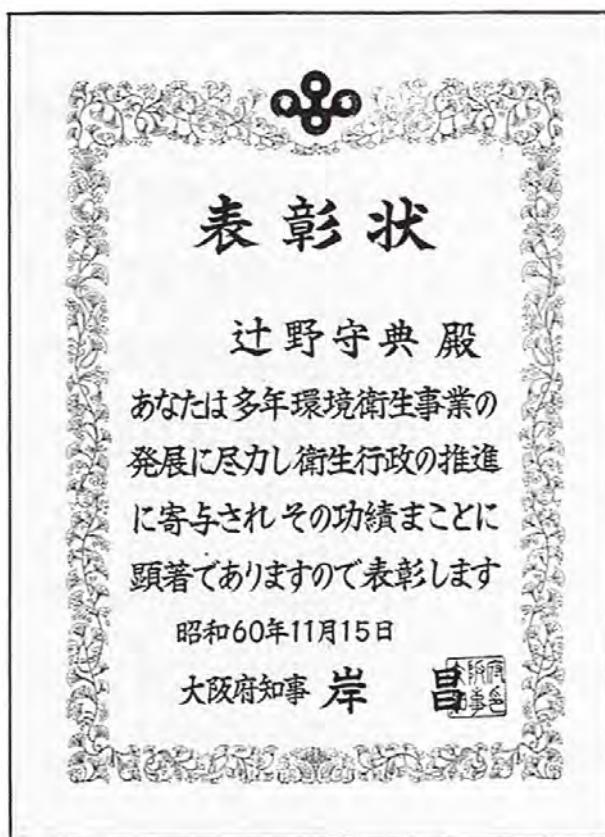
昭和53年3月 内閣総理大臣 福田赳夫より褒状



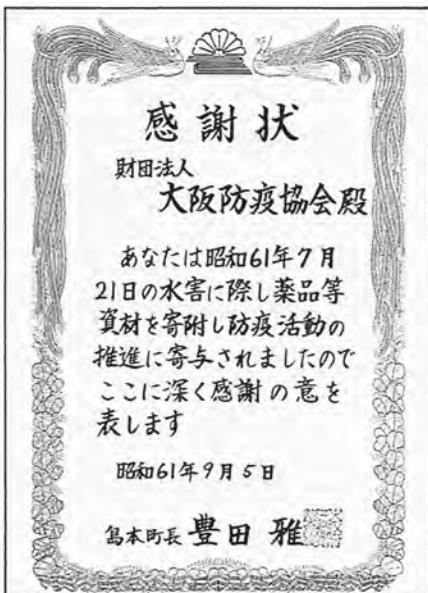
昭和54年5月
(株)大阪食品流通センターより感謝状



昭和58年11月 大阪府知事より感謝状



昭和60年11月 大阪府知事より表彰状



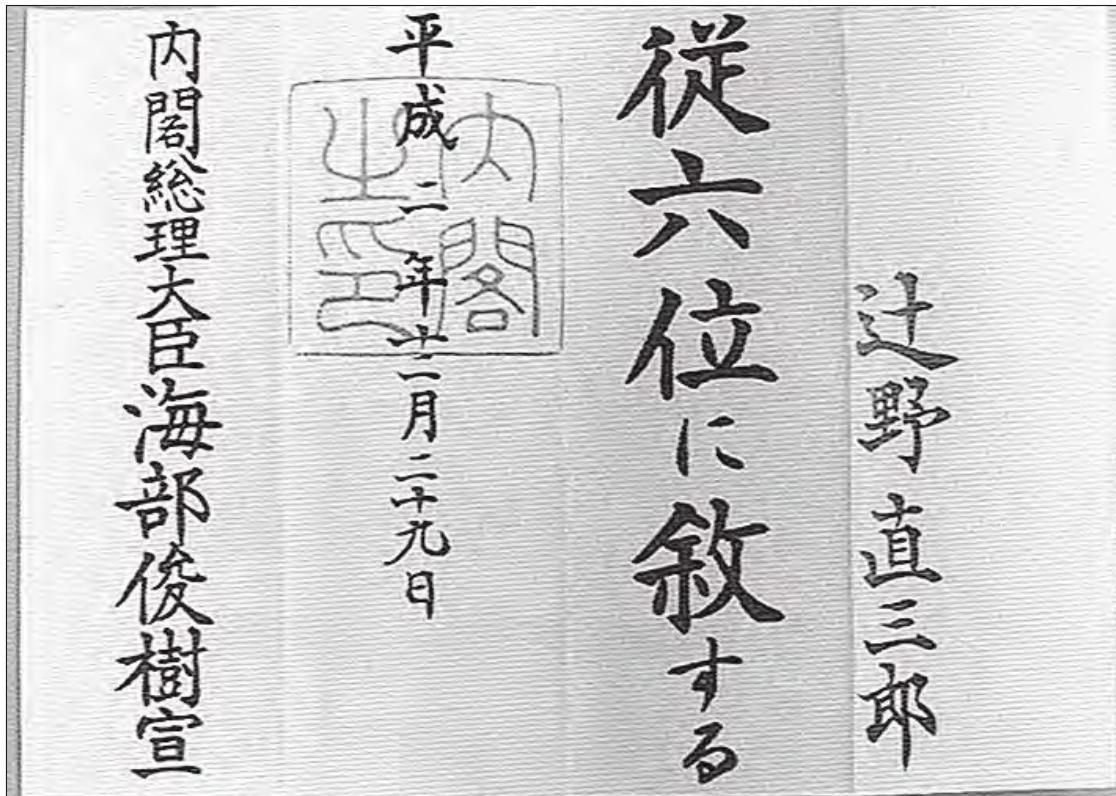
昭和61年9月 島本町より感謝状



昭和63年5月 大阪府中央卸売市場より感謝状



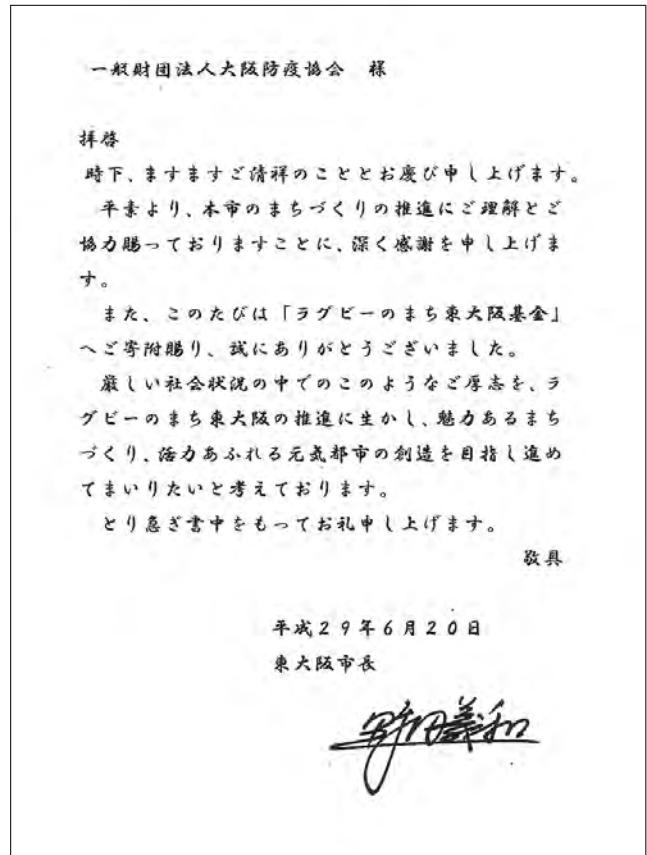
昭和63年12月 日本環境動物昆虫学会より感謝状



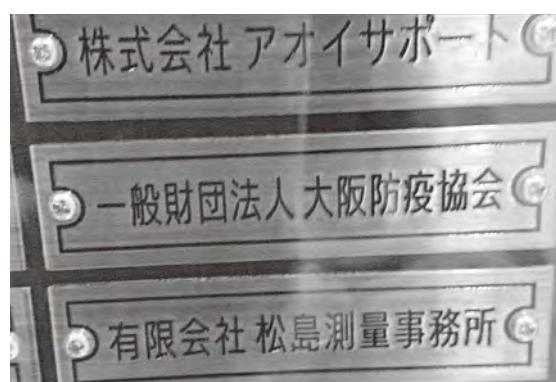
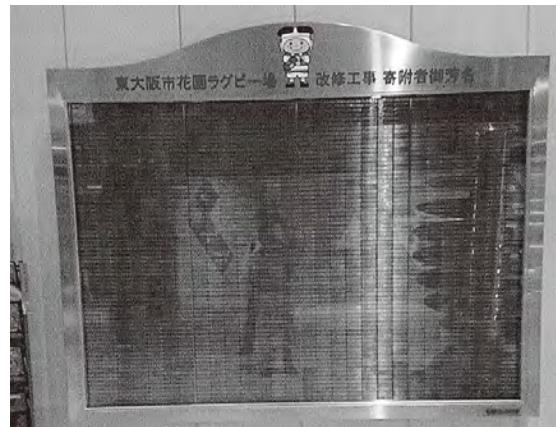
平成2年12月 従六位に叙される



平成8年8月 厚生大臣より感謝状



平成29年6月20日
東大阪市長より感謝状



ラグビーのまち 東大阪基金の
ネームプレート



令和4年12月14日
箕面市長より感謝状

式典



創立40周年記念祝賀会

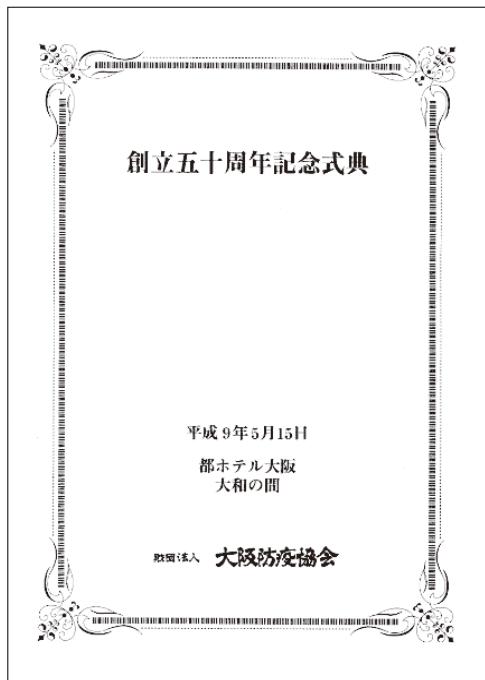


創立40周年記念祝賀会 (S.62.5.16 於ロイヤルホテル)



創立50周年記念式典

戦後昭和22年の創立以来、50年を迎へ、平成9年5月15日
都ホテル大阪 大和の間にて、記念式典を開催いたしました。



第一部 記念式典



挨拶



理事長 辻野 守典



理事 角倉 光彦



理事 浅野五三男

来賓祝詞



財団法人 阪大微生物病研究会
理事長 務臺 方彦



南海電気鉄道株式会社
常務取締役 玉城 千秋

功劳者表彰



受賞者
事務局長 山口 繁夫

第二部 記念講演



東京医科歯科大学名誉教授
加納 六郎先生

第三部 記念パーティー



受付風景



パーティー風景

アトラクション



職員による津軽三味線演奏と民謡



盛会裏に終了

創立周年表彰式典



65周年

平成24年5月15日（火）

午後3時

資材部 理事長室

10年表彰 森 本 勇

66周年

平成25年5月15日（水）

午後3時30分

資材部 理事長室

30年表彰 成 隆 光

25年表彰 仲 谷 啓 三

20年表彰 下 出 英 明

15年表彰 川 崎 芳 明



**67周年**

平成26年5月15日（木）

午後2時30分

資材部 理事長室

25年表彰 森田 恵美子

20年表彰 新立 憲司

15年表彰 石田 臣彦

68周年

平成27年5月15日（金）

午後3時

資材部 理事長室

25年表彰 福留 稔

**69周年**

平成28年5月16日（月）

午後3時

資材部 理事長室

20年表彰 北野 正和

5年表彰 山田 昂

(賞詞)



70周年
平成29年5月15日（月）
午後3時
資材部 理事長室

15年表彰 森 本 勇

71周年
平成30年5月15日（火）
午後3時
資材部 理事長室

30年表彰 仲 谷 啓 三
25年表彰 下 出 英 明
20年表彰 川 崎 芳 明



72周年
令和元年5月15日（水）
午後3時
資材部 理事長室

25年表彰 新 立 憲 司
20年表彰 石 田 臣 彦

73周年

令和2年5月15日（金）

コロナ感染拡大の緊急事態宣言発令により中止

30年表彰 福留 稔



74周年

令和3年5月14日（金）

午後3時

資材部 理事長室

25年表彰 北野正和

10年表彰 山田 昂

75周年

令和4年5月13日（金）

午後3時

資材部 理事長室

永年勤続表彰 該当者なし

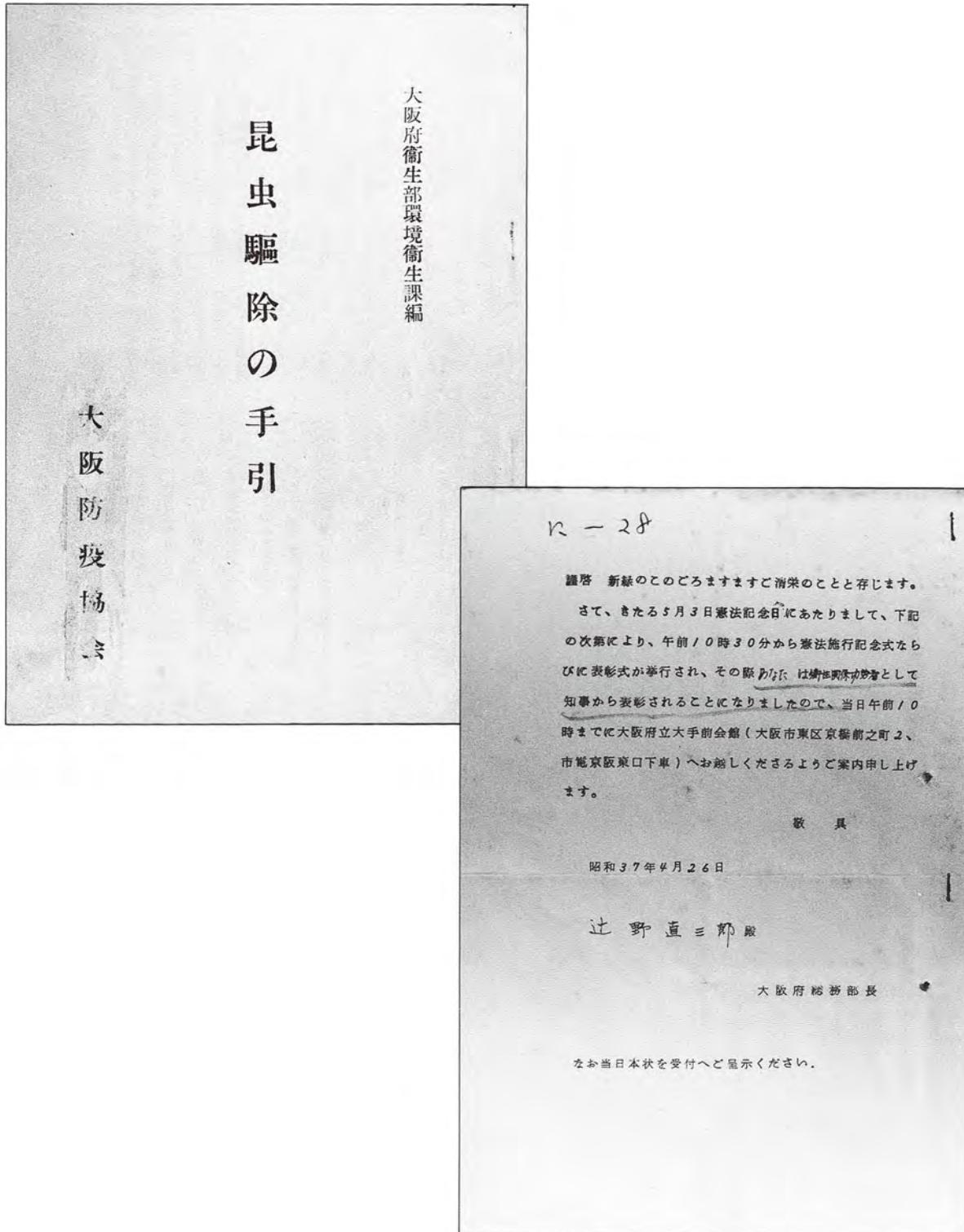




公 益 活 動



公益活動記錄寫真



大阪府民に無料配布（昭和37年）



市町村の松くい虫薬剤防除事業への参画（昭和50年～昭和59年）

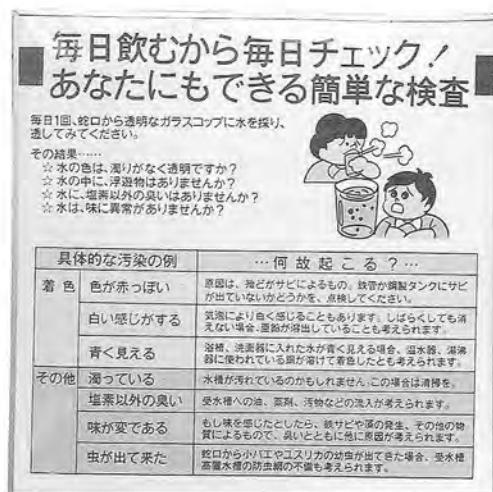
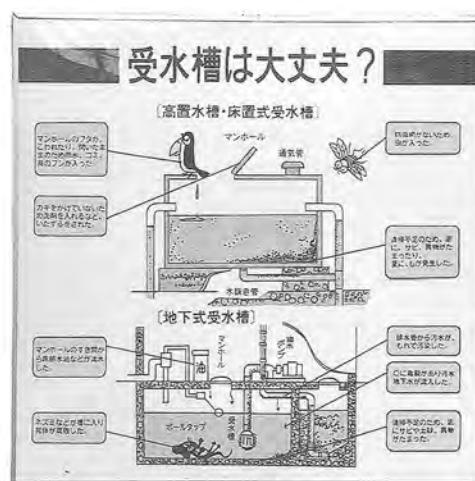




受水槽式水道適正管理啓発事業



簡易専用水道に対する啓発活動の一環として当協会で作成したパネルは各地での水道週間（6／1～7）及び健康まつり等に使用する目的で保健所等に貸し出しをしている。





機関誌「*Makoto*」

※公益性が非常に大きいことから機関誌「makoto」全号は
大阪大学附属図書館学術情報庫OUKA（大阪大学の機関
リポジトリ）にて登録・公開されることが決まりました。

公衆衛生知識の啓発・普及を目的として、昭和48年より年4回（正月、4月、7月、10月）機関誌の発行を行う。

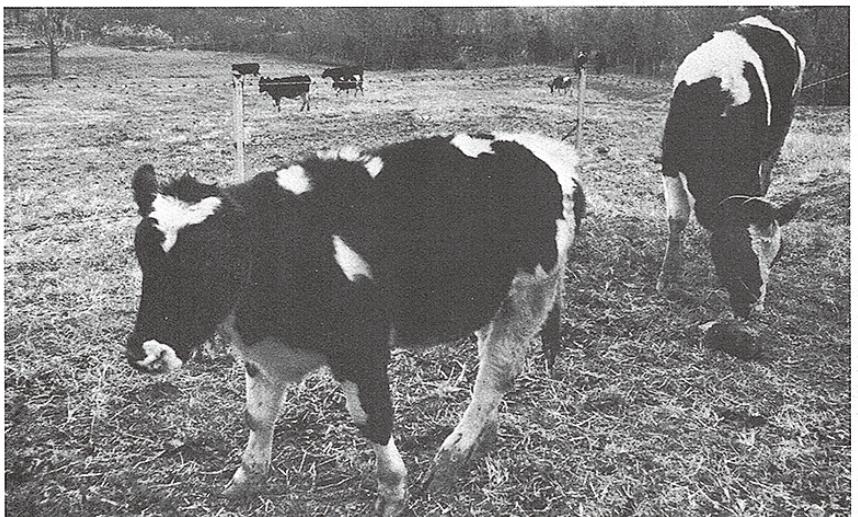
機関誌「まこと」年4回発行（1973年創刊号～第4号）

昭和48年(1973年)
 1月15日 発行



まこと

第1号（年間4回発行）
 発行所
 財団 大阪防疫協会
 大阪市天王寺区逢坂上之町72
 (大阪府天王寺分館内)
 TEL 06(779) 2055
 発行人 辻野直三郎



力強くふみ出す一步
—写真は能勢の種畜場にて—
着本秀一撮影

四半世紀前の記録

昭和二十二年六月二十二日、設立間もない大阪防疫協会の初仕事である防疫宣伝活動は、朝日新聞のご好意により、ボリーカー（街頭放送車）の出動を得て大阪府防疫課員・当協会職員合同で五日間にわたり実施した。実施目的は、終戦後荒廃の中にある「都市の清掃、伝染病予防」に関する市民の注意を喚起し、併せて防疫協会の設立趣旨を取り入れて、「一般の伝染病防止についての協力を呼び起こす」とことで、第一日の宣伝場所は、道修町、阪急前、天六、十三橋、西野田だった。なにぶん終戦後、発疹チフスの大発生、痘瘡患者の続出等で、衛生状態が極めて不良の時期であったために、連日午前九時から午後四時までの、ボリーカーによる防疫宣伝活動の反響は大きく、府市民の共感を呼び、成功裡にこの計画は終了した、と当時の記録も鮮かである。

現時点でのべきか

近代の高度経済成長による生活環境の変化は、終戦という歴史の一ページを境として大きく姿貌（へんぼう）した。高層建築物の林立、地下街の続出、スピード時代の航空機と自動車の氾濫等々、伝染病発生に直接間接の関連と環境衛生に至大の影響を持つものが多い。ダストシートは油虫とハエの発生源であり、地下室はチカイエ蚊の温床である。地下街はドブねずみの住み家となり、文化的施設としては余りにも環境は汚染されている。しかも昼間の都市人口は、その大部分が高層建築物や地下街に集中している。この地域に一旦伝染病が発生すれば、その被害は昔日の比ではあるまい。これが杞憂に終わることを念願し、行政当局は常に先憂の姿勢で取組んでいたが、私達もまた、その態勢に協力して、公益団体としての使命達成に最大の努力を致さねばならない。

ここに長らくの念願である機関紙「まこと」を発刊し、当協会の設立趣旨の一助とした。関係に当局は勿論府民の皆様にご鞭撻ご支援をお願いして、拙ない創刊の辞と致します。（多謝）

創刊の辞

法団 大阪防疫協会

理事長 辻野直三郎



創立30周年記念号発行（1977年第20号）

まこと

創立30周年記念号

昭和52年(1977年)
10月1日 発行
第20号(通巻140号)

発行所
大坂幼稚園会
大坂幼稚園会会員登録料金
TEL. 094 46 600
会員登録二部

思い出の記

創立三十周年にあたつて

祝 創立三十周年

創立三十周年を祝う

創立三十周年記念号

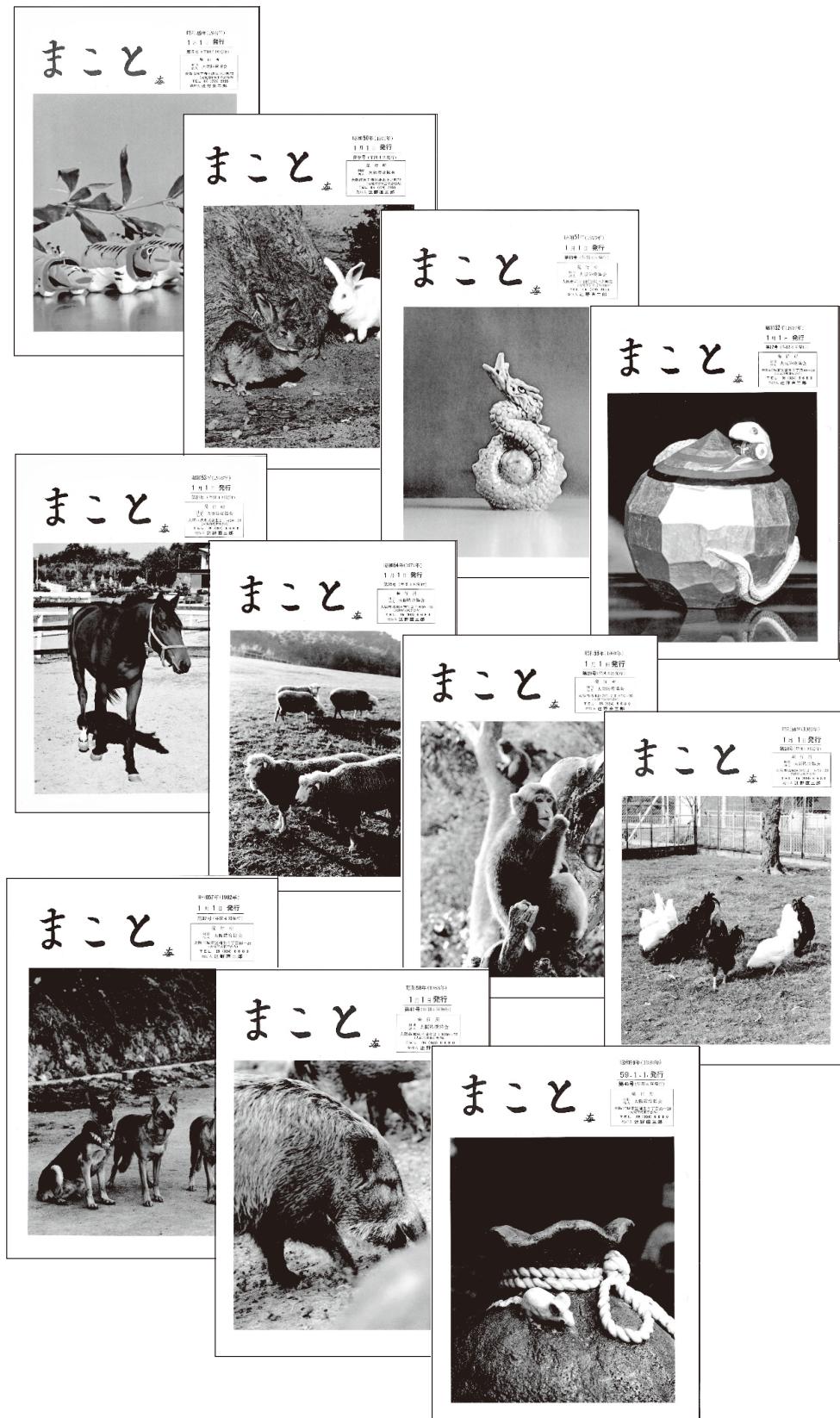
思い出の記

創立三十周年にあたつて

祝 創立三十周年

創立三十周年を祝う

干支の表紙 まこと各1月号（第5,9,13,17,21,25,29,33,37,41,45号）



創立50周年記念式典での講演内容掲載（1997年第99号）

平成9年1月27日
9.7.1. 発行
第99号(9月1日発行)

Makoto

毒 虫

東京医科歯科大学名誉教授
医学博士 加納 六郎

毒虫と言われるものは大部分が節足動物に属し、サソリやハチのように毒針で毒を注入するもの、ドクガのように毒針毛によって皮膚炎を起こすもの、ある種の甲虫のように体間節などから毒物質を分泌するものなどがある。日本列島は南北に長いため、動物の種類は面積に比べて著しく多い。北海道から九州までにみられる動物は大部分が田北区系に属し、南西諸島と小笠原群島には東洋区系の動物が多い。動物毒の本態は近年まではほとんど不明であったが、最近の分析化学的急速な進歩によって、微量の毒の定性、定量が可能になり、動物毒の本態が次々と判明されつつある。以下有毒節足動物の主な種類について、カラー写真を交えて説明する。

ムカデの中ではオオムカデの類が攻撃的で、毒も強く被害が多い。日本では頭の色によって、トビズムカデ（写真1）、アカズムカデ、アオズムカデの3亜種が本州以西にみられ、沖縄では体長10～14cmの大形のタイワンオオムカデを産する。肉食性で昆蟲その他的小動物を捕食する。行動活動で一寸触れても駆逐つく、夜間活動性で、電灯に集まる昆蟲を求めて、しばしば家屋内に侵入し、就寝中に咬まれることが多い。咬まれると激痛、発赤、腫脹、壊死などを起すが、致命的な約1000のボリベブチドが検出されている。

ヤスデの中では大形のフトヤスデの類が体側の小孔から毒液を噴射し、これに触れるとき発赤、水疱など皮膚炎を起こし、ひりひり痛い。本州にもみられるクロヒメヤスデ（写真2）や沖縄のヤエヤマフトヤスデなどの皮膚炎が知られている。毒成分はペニゾキノンなどの誘導体である。

サソリは日本に土着しているのは沖縄にいるヤエヤマサソリ（写真3）と沖縄と小笠原にいるマダラサソリ（写真4）の2種で、いずれも小形で局所毒なので、刺されても軽い痛み程度で、とくに治療の必要はない。しかし近年国際交流が盛んになったため、荷物、ラバーブーム、果物などに潜んで、世界各地から沢山のサソリが移入され、局所毒でも大形で激痛を起こすものや向神経毒で致死率の高い危険なサソリも入ってきてている。一番多いのは東南アジアからラワンクなどについて入ってくる体長10数cmの大形で黒褐色のチャグロサソリとアオサソリである。そのほか中近東から大形のマダラサソリ、インドからインサソリ、中国東北部から神經毒のキヨクトウサソリ、南米ペネズエラから牛の角に入つて神經毒をもつセントロロイディス、メキシコからマンゴーについて猛毒のメキシコサソリなど

 <p>1. トビズムカデ（藤永哲氏撮影）</p> <p>2. フロヒメヤスデ（石井清江氏撮影）</p> <p>3. サエヤマサソリ</p> <p>4. マダラサソリ</p> <p>5. フタバキコマテグモ</p> <p>6. カバキコマテグモ</p> <p>7. カアカゴカワギ</p> <p>8. ハイロコケクモ（藤永哲氏撮影）</p> <p>9. フタバキコマテグモ</p> <p>10. アオハクシタハムカクモ</p>	 <p>11. ナイロヌスメバチ</p> <p>12. ナイロヌスメバチの巣</p>  <p>13. 上口ヘリオイドの感染毛虫</p>  <p>14. シバンムシアリカラハチ</p>  <p>15. オオハリアリ</p>  <p>16. チョウドクガ成虫</p>  <p>17. ハクモヘリオイドの感染毛虫</p>  <p>18. マクムシ幼虫</p>  <p>19. タケノソツヨロイ幼虫</p>
---	---

2016年、第174号から表紙デザインの変更 (2016年第174～177号)

安全・安心・健康な街づくりに向けて

Makoto

第174号

2016年4月1日発行
(年間4回発行)

一般財団法人 大阪防疫協会

東大阪市下小阪4丁目12-10 TEL 06 (6725) 1811
http://o-b-k.sakura.ne.jp E-mail:obk.jimu@muse.ocn.ne.jp

Contents

食中毒の最近の動向	神戸市環境保健研究所所長 館 島 義 雄
私の健康法	大阪市保健所所長 吉 村 高 尚



一般財団法人大阪防疫協会は、大阪府・市町村の防疫施策に協力して、感染症の予防並びにその他公衆衛生に関する事業を行い、文化の発展に寄与することを目的としております。

安全・安心・健康な街づくりに向けて

Makoto

第175号

2016年7月1日発行
(年間4回発行)

一般財団法人 大阪防疫協会

東大阪市下小阪4丁目12-10 TEL 06 (6725) 1811
http://o-b-k.sakura.ne.jp E-mail:obk.jimu@muse.ocn.ne.jp

Contents

蚊媒介性感染症対策について

～ジカウイルス感染症、デング熱、チクungニア熱～	大阪府立公衆衛生研究所 ウィルス課課長 弓 指 孝 博
私の健康法	大阪府立公衆衛生研究所所長 山本 容 正



一般財団法人大阪防疫協会は、大阪府・市町村の防疫施策に協力して、感染症の予防並びにその他公衆衛生に関する事業を行い、文化の発展に寄与することを目的としております。

安全・安心・健康な街づくりに向けて

Makoto

第176号

2016年10月1日発行
(年間4回発行)

一般財団法人 大阪防疫協会

東大阪市下小阪4丁目12-10 TEL 06 (6725) 1811
http://o-b-k.sakura.ne.jp E-mail:obk.jimu@muse.ocn.ne.jp

Contents

人口減少社会における水の守り方を考える	大阪府健康医療部長 上 家 和 子
私の健康法	大阪市健康局局長 田 伸 一



一般財団法人大阪防疫協会は、大阪府・市町村の防疫施策に協力して、感染症の予防並びにその他公衆衛生に関する事業を行い、文化の発展に寄与することを目的としております。

安全・安心・健康な街づくりに向けて

Makoto

第177号

2017年1月1日発行
(年間4回発行)

一般財団法人 大阪防疫協会

東大阪市下小阪4丁目12-10 TEL 06 (6725) 1811
http://o-b-k.sakura.ne.jp E-mail:obk.jimu@muse.ocn.ne.jp

Contents

新年のご挨拶	
私の健康法	高槻市保健所所长 森 定 一 稔



一般財団法人大阪防疫協会は、大阪府・市町村の防疫施策に協力して、感染症の予防並びにその他公衆衛生に関する事業を行い、文化の発展に寄与することを目的としております。

創立70周年記念号発行（2017～2018年第178～182号）

 <p>創立70周年 安全・安心・健康な街づくりに向けて</p> <p>makoto</p> <p>第178号 2017年11月15日発行</p> <p>ワクチンの最新の動向について 国立医薬品食品衛生研究所元副所長 三瀬勝利 私の健康法 幸平町飼料長 松本昌穂</p> <p>一財社団法人大阪防疫協会は、大阪府・市町村の防感染に尽力して、感染症の予防及びその地公衆衛生に対する事業を行い、文化の発展に寄与することを目的としております。</p>	 <p>創立70周年 安全・安心・健康な街づくりに向けて</p> <p>makoto</p> <p>第179号 2017年12月10日発行</p> <p>Contents カビと食品衛生について考える NPO法人カビ相談センター副理幹久米田裕子 私の健康法 大阪市保健所東部保健医療室 稲田浩</p> <p>一財社団法人大阪防疫協会は、大阪府・市町村の防感染に尽力して、感染症の予防及びその他公衆衛生に関する事業を行い、文化の発展に寄与することを目的としております。</p>	
 <p>創立70周年 安全・安心・健康な街づくりに向けて</p> <p>makoto</p> <p>第180号 2018年1月10日発行</p> <p>Contents 国産セイカコケモ抗毒素血清作製の歴史 国立感染症研究所 医典微生物学部教授 沢辺英子 私の健康法 大阪市保健所長 吉田英樹</p> <p>一財社団法人大阪防疫協会は、大阪府・市町村の防感染に尽力して、感染症の予防及びその地公衆衛生に関する事業を行い、文化の発展に寄与することを目的としております。</p>	 <p>創立70周年 安全・安心・健康な街づくりに向けて</p> <p>makoto</p> <p>第181号 2018年1月10日発行</p> <p>Contents 新年のご挨拶 私の健康法 家庭科長 和田吉衛</p> <p>一財社団法人大阪防疫協会は、大阪府・市町村の防感染に尽力して、感染症の予防及びその地公衆衛生に関する事業を行い、文化の発展に寄与することを目的としております。</p>	 <p>創立70周年 安全・安心・健康な街づくりに向けて</p> <p>makoto</p> <p>第182号 2018年1月10日発行</p> <p>Contents 死に至ることの食中毒 鹿児島県保健師会会員所長 阪島義雄 私の健康法 大阪市保健医療室 部長 関井聰子</p> <p>一財社団法人大阪防疫協会は、大阪府・市町村の防感染に尽力して、感染症の予防及びその地公衆衛生に関する事業を行い、文化の発展に寄与することを目的としております。</p>

(2018~2021年第183 ~ 193号)

第183号

安全・安心・健康な街づくりに向けて
makoto

一般財団法人 大阪防疫協会 東大阪市下小路4丁目12-10 TEL.06-6725-1811
http://osaka-ekimakoto.com E-mail:osk@mail.ee.ne.jp

Contents
シ・後醍醐からのお願いのためにー
医業者会員の研究会 副会長 三瀬 勝利
医療安全問題研究会 理事長 須野 良信

第184号

安全・安心・健康な街づくりに向けて
makoto

一般財団法人 大阪防疫協会 東大阪市下小路4丁目12-10 TEL.06-6725-1811
http://osaka-ekimakoto.com E-mail:osk@mail.ee.ne.jp

Contents
ヒアリの国内侵入とその後、甚害の要因研究
医業者会員の研究会 副会長 沢辺 京子
私の「こころ」の健康法
和泉市保健所 所長 白井 千香

第185号

安全・安心・健康な街づくりに向けて
makoto

一般財団法人 大阪防疫協会 東大阪市下小路4丁目12-10 TEL.06-6725-1811
http://osaka-ekimakoto.com E-mail:osk@mail.ee.ne.jp

Contents
東京オリンピックに向けて
-新コロナウイルス感染症とブング熱-
国立感染症研究所 昆虫医学部 沢辺 京子
私の健康法
公益財団法人 大阪府保健医療財團
大阪府かん養病院予防センター 所長 伊藤 寿記

第186号

安全・安心・健康な街づくりに向けて
makoto

一般財団法人 大阪防疫協会 東大阪市下小路4丁目12-10 TEL.06-6725-1811
http://osaka-ekimakoto.com E-mail:osk@mail.ee.ne.jp

Contents
はい 苗
-おやのかけがねのない城であり、我が家トコーの城でもある-
元農立農業振興会 田中耕次郎 副会長 三瀬 勝利
私の健康法
丹波篠山市長 岩島 哲明

第187号

安全・安心・健康な街づくりに向けて
makoto

一般財団法人 大阪防疫協会 東大阪市下小路4丁目12-10 TEL.06-6725-1811
http://osaka-ekimakoto.com E-mail:osk@mail.ee.ne.jp

Contents
ひ水を考える
大阪府水資源大統括課 所長 三輪 雄幸
青井保健所 所長 岩澤 博俊

第188号

安全・安心・健康な街づくりに向けて
makoto

一般財団法人 大阪防疫協会 東大阪市下小路4丁目12-10 TEL.06-6725-1811
http://osaka-ekimakoto.com E-mail:osk@mail.ee.ne.jp

Contents
微生物学部の最近の話題ー公衆衛生的視野を踏まえてー
元近畿大学医学部 教授 (現)日本医師会連合会会長 堀上 吉一
私の健康法 (サッキング・ブルー) 大阪市保健所 丹波山口 浩明

第189号

安全・安心・健康な街づくりに向けて
makoto

一般財団法人 大阪防疫協会 東大阪市下小路4丁目12-10 TEL.06-6725-1811
http://osaka-ekimakoto.com E-mail:osk@mail.ee.ne.jp

Contents
新年のご挨拶
私の健康法
和泉市長 辻 宏康

第190号

安全・安心・健康な街づくりに向けて
makoto

一般財団法人 大阪防疫協会 東大阪市下小路4丁目12-10 TEL.06-6725-1811
http://osaka-ekimakoto.com E-mail:osk@mail.ee.ne.jp

Contents
東京オリンピックに向けて
-新コロナウイルス感染症とブング熱-
国立感染症研究所 昆虫医学部 沢辺 京子
私の健康法
公益財団法人 大阪府保健医療財團
大阪府かん養病院予防センター 所長 伊藤 寿記

第191号

安全・安心・健康な街づくりに向けて
makoto

一般財団法人 大阪防疫協会 東大阪市下小路4丁目12-10 TEL.06-6725-1811
http://osaka-ekimakoto.com E-mail:osk@mail.ee.ne.jp

Contents
大阪府内の公園で捕獲された新女性バチの捕獲調査結果について
-新女性バチ-大阪府会員登録実績成
私の健康法
和泉市長 南出 賢一

第192号

安全・安心・健康な街づくりに向けて
makoto

一般財団法人 大阪防疫協会 東大阪市下小路4丁目12-10 TEL.06-6725-1811
http://osaka-ekimakoto.com E-mail:osk@mail.ee.ne.jp

Contents
超高齢社会における、持続可能な健康長寿社会を目指して
-公財法・大阪府保健医療財團 大阪府かん養病院予防センター 所長
-一般社団法・日本林業医学会 理事長 伊藤 寿記
私の健康法-がんの予防について- 地方独立行政法人大阪府立保健医療
大阪府かん養センター 総長 松浦 成昭

第193号

安全・安心・健康な街づくりに向けて
makoto

一般財団法人 大阪防疫協会 東大阪市下小路4丁目12-10 TEL.06-6725-1811
http://osaka-ekimakoto.com E-mail:osk@mail.ee.ne.jp

Contents
新年のご挨拶
私の健康法
四條畷市長 東 修平

(2021~2022年第194 ~ 199号)



創立73周年
安全・安心・健康な街づくりに向けて
makoto
第194号
2021年4月15日発行 (平成4年4月15日)

Contents

防疫に間わる人文学的アプローチ—2020年春開講記の一環として～
大阪大学COデザインセンター「社会イノベーション」室 林田 雅至
(多田)三國二三子・ショウザイケー
私の 健 康 法 公益社団法人 日・WHO協会 理事長
奈南女子大学副里ハビリテーション部 教員 中村 安秀

一財団法人大阪府疫病協会は、大阪府・市町村の公的疫病署に協力して、感染症の予防及びにその他公衆衛生に関する事務を行い、文化の発展に寄与することを目的としております。

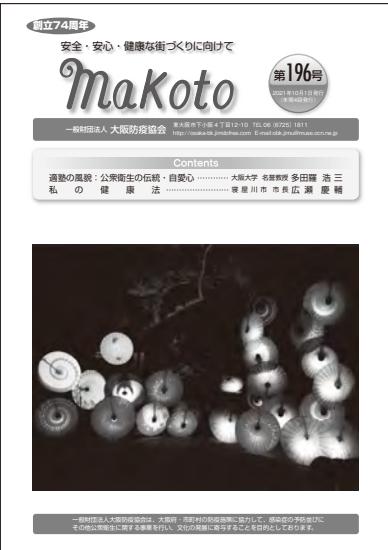


創立74周年
安全・安心・健康な街づくりに向けて
makoto
第195号
2021年5月10日発行 (平成4年5月10日)

Contents

2021年夏重すべき感染症、新型コロナウイルス感染症と
高病原性鳥インフルエンザ 国立感染症研究所 研究科細胞生物学研究室 池田西科長 沢 洋子
私の 健 康 法—くらしに溶け込む健づくり 依田市 さゑな後藤 圭二

一財団法人大阪府疫病協会は、大阪府・市町村の公的疫病署に協力して、感染症の予防及びにその他公衆衛生に関する事務を行い、文化の発展に寄与することを目的としております。



創立74周年
安全・安心・健康な街づくりに向けて
makoto
第196号
2021年6月15日発行 (平成4年6月15日)

Contents

適塾の風説：公衆衛生の伝統・自愛心 大阪大学 名古野院 多田輝 浩三
私 の 健 康 法 夜星川市 市長 庄 謙 植

一財団法人大阪府疫病協会は、大阪府・市町村の公的疫病署に協力して、感染症の予防及びにその他公衆衛生に関する事務を行い、文化の発展に寄与することを目的としております。



創立74周年
安全・安心・健康な街づくりに向けて
makoto
第198号
2021年8月10日発行 (平成4年8月10日)

Contents

病気とは何か 大阪大学 名古野院 北村 幸彦
私の 健 康 法 大阪府健康安全基盤研究所 理事長
大阪府新型コロナウイルス対策本部専門家会議 産業 大阪大学大学院医学系研究科感染症学 教授 脇野 和典

お知らせ

機関紙「makoto」全号（創刊号～現在号）は大阪大学附属図書館蔵書技術情報庫OUKA（大阪大学の機関リポジトリ）にて収録・公開されています。

一財団法人大阪府疫病協会は、大阪府・市町村の公的疫病署に協力して、感染症の予防及びにその他公衆衛生に関する事務を行い、文化の発展に寄与することを目的としております。



創立74周年
安全・安心・健康な街づくりに向けて
makoto
第197号
2021年9月15日発行 (平成4年9月15日)

Contents

新年のご挨拶 大阪大学理生物研究所内評・附へい教授
コロナ収束後に懸念される感染症 大阪大学名古屋院 生田 和良
私の 健 康 法 門真市長 富木 一季

お知らせ

機関紙「makoto」全号（創刊号～197号（現在号））は大阪大学附属図書館蔵書技術情報庫OUKA（大阪大学の機関リポジトリ）にて収録・公開されることが決まりました。

一財団法人大阪府疫病協会は、大阪府・市町村の公的疫病署に協力して、感染症の予防及びにその他公衆衛生に関する事務を行い、文化の発展に寄与することを目的としております。



創立75周年
安全・安心・健康な街づくりに向けて
makoto
第199号
2022年7月15日発行 (平成4年7月15日)

Contents

世界保健デー：私たちの地球、わいたちの健康 公益社団法人 日・WHO協会 理事長 中村 安秀
私の 健 康 法 熊取町 藤原 敏司

大阪大学附属図書館蔵書技術情報庫OUKA（大阪大学の機関リポジトリ）にて機関紙「makoto」全号（創刊号～現在号）が収録・公開されています。

一財団法人大阪府疫病協会は、大阪府・市町村の公的疫病署に協力して、感染症の予防及びにその他公衆衛生に関する事務を行い、文化の発展に寄与することを目的としております。

創立75周年記念号発行（2022年第200号）



安全・安心・健康な街づくりに向けて

Makoto



一般財団法人 大阪防疫協会

東大阪市下小阪4丁目12-10 TEL 06(6725)1811
<http://osaka-bk.jimdofree.com> E-mail:obk.jimu@muse.ocn.ne.jp

Contents

“背筋が伸びて、世の中が明るくみえてきます”
 ポールdeウォークのすすめとウォーキングの歩み

..... 一般社団法人ポールdeウォーク推進協議会

常務理事・事務局長 木谷道宣

私の健 康 法 東大阪市 市長 野田義和



大阪大学附属図書館学術情報庫OUKA（大阪大学の機関リポジトリ）にて機関誌「*Makoto*」全号（創刊号～現在号）が登録・公開されています。

一般財団法人大阪防疫協会は、大阪府・市町村の防疫施策に協力して、感染症の予防並びにその他公衆衛生に関する事業を行い、文化の発展に寄与することを目的としております。

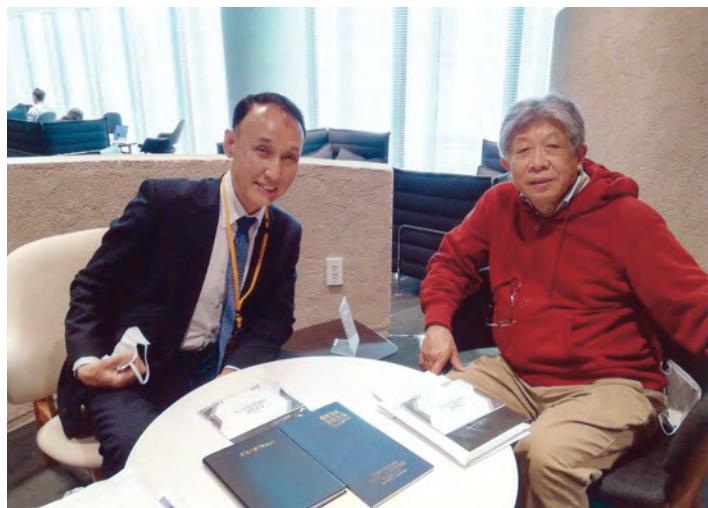


機関誌「*Makoto*」の寄稿者



第78号・185号 私の健康法執筆
公衆衛生協会会长 高野 正子様
(右から3人目)
元大阪市長 關 淳一様
(右から2人目)
平成31年1月15日 講演会会場

第194号執筆
大阪大学 教授 林田 雅至様
令和4年11月16日（水）
ナレッジキャピタルにて



第196号・202号・203号執筆
大阪大学 名誉教授 多田羅浩三様
令和4年10月14日（金） 西宮にて



第197号執筆

日本WHO協会 理事長 中村 安秀 様
令和4年7月8日（金）
日本WHO協会にて

第199号 私の健康法執筆
熊取町 町長 藤原 敏司 様
令和4年6月27日（月）
熊取町役場にて



第200号 私の健康法執筆
東大阪市 市長 野田 義和 様
令和4年9月20日（火）
東大阪市役所にて



第201号 私の健康法執筆
泉南市 市長 山本 優真 様
令和4年12月26日（月）
泉南市役所にて

第202号 私の健康法執筆
厚生労働省 大阪検疫所 所長 垣本 和宏 様
令和5年3月29日（水）
大阪検疫所にて



第203号 私の健康法執筆
箕面市 市長 上島 一彦 様
令和4年11月4日（金）
箕面市役所にて



セミナー・講演会

衛生教育公開セミナー

◆第1回

平成4年8月7日 (於) 和泉市コミュニティセンター

○食品工場の衛生管理、衛生慣行

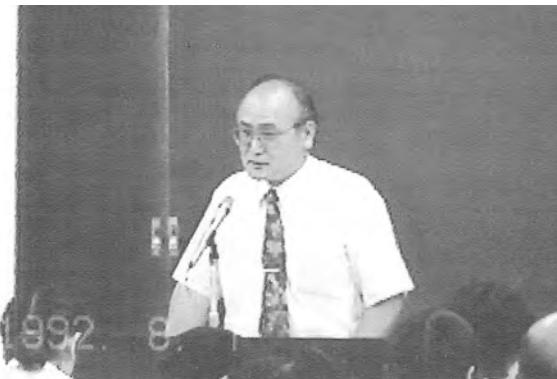
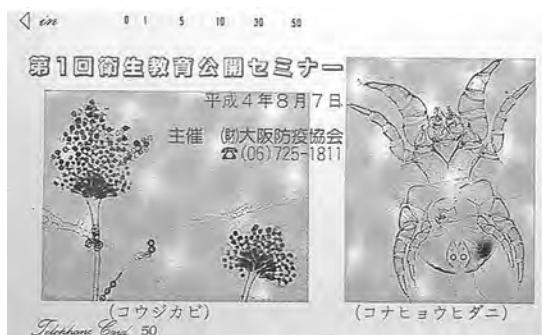
(財) 大阪防疫協会 森田 和矢

○細菌による下痢、食中毒について

大阪府立公衆衛生研究所 小林 一寛

○食品害虫の話

大阪府立講習会研究所 吉田 政弘



◆第2回

平成6年5月26日 (於) 岸和田市立産業会館

○薬の誤用

元大阪府立公衆衛生研究所 田中 凉一

○食品の安全と食品添加物

大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政晴



◆第3回

平成7年6月9日

(於) 八尾市文化会館プリズムホール

○輸入腸管感染症の話

大阪府立公衆衛生研究所 宮田 義人

○食品害虫とその防除

(財) 大阪防疫協会 成 隆光



◆第4回

平成8年7月12日

(於) 貝塚市市民会館コスモスシアター

○おいしい水と安全性について

—水道水の過去、現在、未来—

大阪府立公衆衛生研究所 鵜川 昌弘

○食品に由来した様々な昆虫、ダニ類の事例

(財) 大阪防疫協会 成 隆光



◆第5回

平成9年8月7日 (於) 東大阪市立勤労市民センター (ユトリート東大阪)

○細菌性中毒の現状

—注目されている食中毒とその予防対策—

大阪府立公衆衛生研究所 柴田 忠良

○ダニ類と防除について

(財) 大阪防疫協会 成 隆光

◆第6回

平成10年7月8日 (於) 岸和田市立産業会館

○食中毒菌についての再認識

大阪府立公衆衛生研究所 小林 一寛

○住まいのダニと対策

大阪防疫協会 成 隆光

◆第7回

平成11年7月21日 (於) 八尾市文化会館プリズムホール

○感染症新法に含まれる腸管原虫症について

大阪府立公衆衛生研究所 木村 明生

○最近の殺虫剤の動向と衛生害虫の情報

大阪防疫協会 成 隆光

◆第8回

平成13年2月16日 (於) 泉佐野市立文化会館(泉の森ホール)

○家庭の中の化学物質

大阪府立公衆衛生研究所 松永 一朗

○家庭用殺虫剤の動向

大阪防疫協会 成 隆光

◆第9回

平成14年3月19日 (於) 八尾市文化会館プリズムホール

○最近の魚貝毒による中毒事情

大阪府立公衆衛生研究所 濱野 米一

○最近取り扱った昆虫駆除・調査事例からの報告

大阪防疫協会 成 隆光

◆第10回

平成14年11月8日 (於) 岸和田市立浪切ホール

○侵入生物に関する最近の話題

—侵入毒グモについて—

大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政弘

○簡易専用水道の管理について

(財) 大阪防疫協会 福留 稔

◆第11回

平成15年11月28日 (於) 八尾市文化会館プリズムホール

○感染症とその媒介昆虫

大阪市立環境科学研究所 今井 長兵衛

○害虫防除事例について

(財) 大阪防疫協会 成 隆光

◆第12回

平成16年12月3日 (於) 岸和田市立浪切ホール

○ウェストナイル熱について

大阪府立公衆衛生研究所 弓指 孝博

○害虫駆除事例について

(財) 大阪防疫協会 成 隆光

◆第13回

平成17年12月2日 (於) 八尾市文化会館プリズムホール

○ウイルス性胃腸炎を知る

大阪府立公衆衛生研究所 左近 直美

○室内空気環境を取り巻く状況とその測定方法

(財) 日本紡績検査協会 小林 充

講 演 会

(平成18年度より、公益財団法人 大阪公衆衛生協会との共催により開催)

◆平成18年度 講演会

平成18年12月7日 (於) 大阪市こころの健康センター研修室

○セアカゴケグモの生息状況及びその対策

大阪府健康福祉部環境衛生課 主査 上澤 行成

○トリインフルエンザと新型インフルエンザ

大阪府立公衆衛生研究所 感染症部 ウィルス課 主任研究員 加瀬 哲男

◆平成19年度 講演会

平成19年11月29日 (於) 大阪府立成人病センター講堂

○大阪府のウエストナイル熱媒介蚊対策について

大阪府健康福祉部環境衛生課 主査 上澤 行成

○細菌性腸管感染症（特にO-157）の現状について

大阪府立公衆衛生研究所 感染症部 細菌課 主任研究員 瀬戸 和子

◆平成20年度 講演会

平成21年2月6日 (於) 大阪府立成人病センター講堂

○食中毒対策—特にノロウイルス対策について—

大阪府健康福祉部 食の安全推進課 主査 稲村 秀一

○最近の結核の現状について

大阪府立公衆衛生研究所 感染症部 細菌課 主任研究員 田丸 亜貴

◆平成21年度 講演会

平成22年3月5日 (於) クレオ大阪中央セミナーホール

○水道水の安全性とおいしさについて—大阪の水道水質について—

大阪府立公衆衛生研究所 衛生化学部 生活環境課長 足立 伸一

○動物由来感染症とその対策—中核市の立場から—

東大阪市保健所 食品衛生課 主幹 松田 健治

◆平成22年度 講演会

平成23年1月26日 (於) クレオ大阪中央セミナーホール

○食品に含まれるアレルギー物質の検査方法について

大阪府立公衆衛生研究所 衛生化学部 食品化学課 清田 恭平

○食品のカビと住まいのカビについて

大阪市立環境科学研究所 微生物保健担当 研究副主幹 濱田 信夫

◆平成23年度 講演会

平成24年2月2日 (於) クレオ大阪中央セミナーホール

○食品中の残留農薬について

大阪府立公衆衛生研究所 衛生化学部長 尾花 裕孝

○トコジラミについて

財団法人 大阪防疫協会 技術開発室 係長 成 隆光



挨拶 相良 武彦 理事長



大阪府立公衆衛生研究所 衛生化学部長
尾花 裕孝 様



財団法人 大阪防疫協会 技術開発室 係長
成 隆光



◆平成24年度 講演会

平成25年3月8日 (於) 大阪府立労働センター (エル・おおさか)

○違法ドラッグについて

大阪府立公衆衛生研究所 衛生化学部 薬事指導課長 沢辺 善之

○大阪府のセアカゴケグモ対策について

大阪府健康医療部環境衛生課 生活環境グループ 総括主査 上澤 行成



挨拶 久多里 文也 理事長



司会 神戸 正雄 理事



大阪府立公衆衛生研究所 衛生化学部
薬事指導課長 沢辺 善之 様



大阪府健康医療部環境衛生課
生活環境グループ 総括主査 上澤 行成 様

◆平成25年度 講演会

平成26年3月7日 (於) 大阪府立労働センター (エル・おおさか)

○レジオネラ症の現状～行政対応の難しさ～

大阪府立公衆衛生研究所 細菌課 主任研究員 勝川 千尋

○現状からの報告「災害と防疫対応（自治体・PCOの現場力）」

・ PCOの対応について

(一社) 大阪府ペストコントロール協会 理事

・自治体の対応について

東大阪市保健所 環境薬務課

門真市 環境事業部 環境対策課

(一社) 大阪府ペストコントロール協会

◆平成26年度 講演会

平成27年2月19日 (於) 大阪府立労働センター (エル・おおさか)

テーマ「あなたをねらう今話題の感染症」

○あなたを狙う感染症～エボラを含む感染症の動向～

神戸市環境保健研究所長 飯島 義雄

○蚊やダニが媒介する感染症～デング熱とSFTS（重症熱性血小板減少症候群）～

大阪府立公衆衛生研究所 感染症部 ウィルス課 主任研究員 弓指 孝博



神戸市環境保健研究所長 飯島 義雄 様



大阪府立公衆衛生研究所 感染症部
ウィルス課 主任研究員 弓指 孝博 様



講演会が無事終了し、
講師の先生を交えて記念撮影

◆平成27年度 講演会

平成28年1月22日 (於) 大阪赤十字会館

テーマ「健康危機管理事象における公衆衛生従事者の役割を考える」

～茨城県神栖市の有機ヒ素中毒事案の経験から～

大阪府健康医療部長 上家 和子

《参加者から経験事例の報告と意見交換》

事例1 O26集団発生事例対応から

大阪府 寝屋川市保健所 地域保健課 松尾 由美 (感染症チームリーダー)

事例2 簡易水道からのクリプトスロジウム検出事例

大阪府 豊中市 健康福祉部 保健所 衛生管理課 生活衛生係 中島 康勝



大阪府健康医療部長 上家 和子 様



大阪府 寝屋川市保健所 地域保健課
松尾 由美 様 (感染症チームリーダー)



大阪府 豊中市 健康福祉部 保健所
衛生管理課 生活衛生係 中島 康勝 様

◆平成28年度 講演会

平成29年2月7日（於）大阪赤十字会館

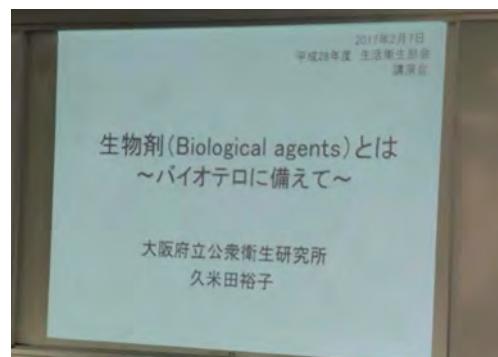
テーマ「健康危機管理事象における公衆衛生従事者の役割を考える」

○生物剤（Biological agents）とは～バイオテロに備えて～

大阪府立公衆衛生研究所 副所長兼感染症部長 久米田 裕子

○麻しん～麻しん排除認定の維持のために～

大阪市保健所 南部保健医療監兼西成区役所医務主幹 吉田 英樹



大阪府立公衆衛生研究所 副所長兼感染症部長
久米田 裕子 様



大阪市保健所 南部保健医療監
兼西成区役所医務主幹 吉田 英樹 様

◆平成29年度 講演会

平成30年2月14日 (於) 大阪赤十字会館

テーマ「健康危機管理事象における公衆衛生従事者の役割を考える」

○気を付けて！危険な外来生物ヒアリ～ヒアリに遭遇したらどうする～

住化エンバイロメンタルサイエンス（株）グループリーダー 佐藤 裕蔵

○ストップ・ザ・ヒアリ～大阪における水際防除作戦～

(一社) 大阪府ペストコントロール協会 副会長 曽谷 久嗣



住化エンバイロメンタルサイエンス（株）
グループリーダー 佐藤 裕蔵 様



(一社) 大阪府ペストコントロール協会
副会長 曽谷 久嗣 様



◆平成30年度 講演会

平成31年1月15日 (於) 国民会館住友生命ビル

テーマ「健康危機管理事象における公衆衛生従事者の役割を考える」

○思いつくままに～現役時代に学んだ事など～

前日本WHO協会理事長、元大阪市長、元大阪市環境保健局長 關 淳一

○健康医療行政をめぐる課題～危機管理への対応を通じて～

大阪府 健康医療部長 藤井 瞳子



前日本WHO協会理事長、元大阪市長、元大阪市環境保健局長 關 淳一 様と
大阪府健康医療部長 藤井 瞳子 様



前日本WHO協会理事長、元大阪市長、元大阪市環境保健局長 關 淳一 様



大阪府 健康医療部長 藤井 瞳子 様



司会 今田 光三 理事（現：理事長）



◆令和元年度 講演会

令和2年1月31日 (於) 大阪府病院年金会館 コンベンションルーム

テーマ「健康危機管理事象における公衆衛生従事者の役割を考える」

○基調講演「健康危機管理と広報について」

大阪市健康局長 山口 浩明

○講演Ⅰ「災害時の保健医療活動に関する取り組みと災害時健康危機管理支援チーム」

寝屋川市保健所長 宮園 将哉

○講演Ⅱ「災害時の生活衛生対策に関する取り組み」

大阪府環境衛生課 水道・生活排水グループ調整統括主査 辻野 悅次



大阪市健康局長 山口 浩明 様



大阪府環境衛生課 水道・生活排水グループ
調整統括主査 辻野 悅次 様



寝屋川市保健所長 宮園 将哉 様

講演会 幹事 (大阪府 各政令市 府立公衆衛生研究所代表)

*幹事会にて当年度の講演会テーマや講師の選定を行いました。



平成26年度 講演 幹事会メンバー



平成27年度 講演 幹事会メンバー



平成28年度 講演幹事会メンバー



平成29年度 講演幹事会メンバー



平成30年度 講演幹事会メンバー



学会報告・講演・調査研究

学会報告等

◆第4回環境殺菌分野事例研究会 日本防菌防黴学会

昭和59年度（1985.2.22）エーザイ（株）新館ホール

○某製菓工場における環境微生物検査事例

（財）大阪防疫協会 森田 和矢 成 隆光 着本 秀一 梶田 稔 辻野 守典

◆第12回日本防菌防黴学会 年次大会

昭和60年度（1985.5.24～25）日本生命中之島研修所

○寝具とダニ（毛布におけるダニについて）

（財）大阪防疫協会 森田 和矢 梶田 稔

大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政弘

◆第5回環境殺菌分野事例研究会

昭和60年度（1986.2.27）日本生命中之島研修所

○製菓工場における環境微生物検査事例（第二報）

（財）大阪防疫協会 森田 和矢 成 隆光 山元 正雄 辻野 守典

◆第13回日本防菌防黴学会 年次大会

昭和61年度（1986.5.23～24）北里大学衛生学部

○都市周辺の蛾類について

（財）大阪防疫協会 山本 正雄 横田 伸一郎

大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政弘

○寝具類のダニ類について

—寝具類のダニ類に対する管理について—

大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政弘

ホームサービス（株）幸形 聰 山下 雅司 伊藤 主計

（財）大阪防疫協会 森田 和矢 山元 正雄

大日本除虫菊（株）矢野 芳子

◆第2回日本ペストロジー研究会

昭和61年度（1986.11.18）名古屋市公会堂

○各種クリーニング法による一般細菌と真菌類の動向について

（財）大阪防疫協会 森田 和矢 山元 正雄

大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政弘

◆第6回環境殺菌分野事例研究会

昭和61年度（1987.2.26） 日本生命中之島研修所

○毛布の各種クリーニングによる微生物の除去効果について

（財）大阪防疫協会 森田 和矢 山元 正雄

大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政弘

○某市民病院の未熟児室における初発基礎殺菌処理事例

（財）大阪防疫協会 成 隆光 森田 和矢 山元 正雄 着本 秀一 塩渕 義夫
植野 晴道 相良 武彦

◆第14回日本防菌防黴学会 年次大会

昭和62年度（1987.5.28～29） 徳島県郷土文化会館

○各種古布団中ワタにおける微生物について

（財）大阪防疫協会 森田 和矢 成 隆光 山元 正雄 中島 孝典 横田 伸一郎
大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政弘

◆第3回日本ペストロジー研究会

昭和62年度（1987.11.13） 大阪YMCA会館

○樹木害虫防除における一考察

（財）大阪防疫協会 成 隆光 森田 和矢 中島 孝典 横田 伸一郎
大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政弘

◆第7回環境殺菌分野事例研究会

昭和62年度（1988.2.26） 日本生命中之島研修所

○病院内における疥癬症対策について

（財）大阪防疫協会 成 隆光 森田 和矢 相良 武彦 植野 晴道 塩渕 義夫
横田 伸一郎 着本 秀一

◆第15回日本防菌防黴学会 年次大会

昭和63年度（1988.5.23～24） 愛知県産業貿易館

○アレルギー性鼻炎患者宅におけるダニ相について（第1報 予備調査）

（財）大阪防疫協会 成 隆光 森田 和矢 井上 文人 辻野 守典
大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政弘
大阪市立城北市民病院 杉山 正夫

◆第4回日本ペストロジー研究会

昭和63年度（1988.10.18）宮城県民会館

○「かゆみ」被害調査方法について

（財）大阪防疫協会 井上 文人 森田 和矢 成 隆光 辻野 守典
大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政弘

◆第8回環境殺菌分野事例研究会

昭和63年度（1989.2.28）日本生命中之島研修所

○ゴキブリに対するULV処理のフラッシング効果と処理後の蘇生率調査

（財）大阪防疫協会 成 隆光 森田 和矢 井上 文人
仲谷 啓三 長江 富士夫 辻野 守典

◆第1回日本環境動物昆虫学会 年次大会

平成元年度（1989.11.10～11）近畿大学農学部

○アレルギー性鼻炎患者宅における環境改善について

（財）大阪防疫協会 成 隆光 森田 和矢 井上 文人
長瀬 善宣 遠藤 斎彦 辻野 守典

◆第2回日本環境動物昆虫学会 年次大会

平成2年度（1990.11.16～17）東京農業大学 農学部

○病院におけるカイセン流行の実態について

（財）大阪防疫協会 成 隆光 森田 和矢 辻野 守典
大阪府立公衆衛生研究所 辻野 守典

◆第10回環境殺菌分野事例研究会 記念大会

平成2年度（1991.3.1）日本生命中之島研修所

○準清潔区域の微生物管理

（財）大阪防疫協会 井上 文人 森田 和矢

◆第3回日本環境動物昆虫学会 年次大会

平成3年度（1991.10.14～15）京都大学 農学部

○ダニとカビ(1)ダニの増殖と微生物数

（財）大阪防疫協会 （財）大阪防疫協会 森田 和矢 成 隆光
（株）ビアブル 田中 巧

大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政弘

○家庭内におけるクビレヒメマキムシ *Cartodere costricta* HUMMELの発生について

ホームサービス（株） 幸形 聰 山下 雅司

大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政弘

(財) 大阪防疫協会 森田 和矢

◆第4回日本アレルギー学会 春期臨床集会

平成4年度（1992.4.17～18） パシフィコ横浜

○アトピー性皮膚炎患者宅における寝具および寝室の管理と臨床経過について

大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政弘

(財) 大阪防疫協会 森田 和矢 成 隆光 辻野 守典

大阪府立羽曳野病院 青木 敏之 小嶋 益子 足立 準 遠藤 薫 吹角 隆之

○アトピー性皮膚炎におけるダニ除去の効果（二重盲検試験）

大阪府立羽曳野病院 遠藤 薫 吹角 隆之 足立 準 小嶋 益子 青木 敏之

(財) 大阪防疫協会 森田 和矢 成 隆光 辻野 守典

大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政弘

◆第4回日本環境動物昆虫学会 年次大会

平成4年度（1992.11.10～11） ラポールインタカマツ

○ダニの増殖におよぼす真菌の影響

(財) 大阪防疫協会 森田 和矢 成 隆光

ホームサービス（株） 幸形 聰 山下 雅司

大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政弘

◆第5回日本環境動物昆虫学会 年次大会

平成5年度（1993.11.18～19）

○防ダニ加工畳の準実地試験について

—健康住宅普及協会実験棟での検討—

大和化学工業（株） 今関 信行 長谷川 美恵子

(財) 大阪防疫協会 成 隆光

安立計器（株） 山崎 俊一郎

◆第6回日本環境動物昆虫学会 年次大会

平成6年度（1994.11.1～2） 神戸市産業振興センター

○新しい畳におけるダニと微生物の関連性について

—第1報 ダニと一般細菌とカビ類について—

(財) 大阪防疫協会 成 隆光 田中 敬子 下出 英明 辻野 守典

近畿大学農学部 米虫 節夫

大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政弘

◆日本防菌防黴学会 若手の会

平成6年度（1994.11.5） 中之島プラザ

○新しい畳におけるダニと微生物の関連性について

—第1報 ダニと一般細菌とカビ類について—

(財) 大阪防疫協会 田中 敬子 成 隆光 下出 英明 辻野 守典

大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政弘

近畿大学農学部 米虫 節夫

◆第22回日本防菌防黴学会 年次大会

平成7年（1995.5.29～30）（於）千里ライフサイエンスセンター

○新しい畳におけるダニ類の発生推移と微生物との関連性について

—第1報 ダニと一般細菌とカビ類について—

(財) 大阪防疫協会 田中 敬子、成 隆光、下出 英明、辻野 守典

大阪府立公衆衛生研究所 吉田 政弘、

近畿大学農学部農芸化学科 米虫 節夫

◆第7回日本環境動物昆虫学会年次大会

平成7年（1995.11.1～2）（於）科学技術庁「研究交流センター」

○実験棟を用いた室内空気環境とダニの増殖及び防ダニ剤の性能評価に関する研究

大阪化成（株）・健康住宅普及協会 渡辺 弘司・垣内 成矢・三浦 早苗

(財) 大阪防疫協会・健康住宅普及協会 成 隆光

名古屋大学医学部・健康住宅普及協会 須藤 千春

◆第8回日本環境動物昆虫学会年次大会

平成8年（1996.11.4～5）（於）近畿大学 農学部

○実験棟を用いた室内空気環境と2種チリダニの増殖に関する研究

大阪化成（株）・健康住宅普及協会 渡辺 弘司・垣内 成矢・坂田 豪

（財）大阪防疫協会・健康住宅普及協会 成 隆光

名古屋大学医学部・健康住宅普及協会 須藤 千春

○高齢者居住高気密・高断熱住宅（吹田健康モデル住宅1号）における温湿度変動とダニ類の生息
実態調査

（財）大阪防疫協会・健康住宅普及協会 成 隆光・下出 英明・田中 敬子・辻野 守典

大阪化成（株）・健康住宅普及協会 渡辺 弘司・垣内 成矢・三浦 早苗

名古屋大学医学部・健康住宅普及協会 須藤 千春

◆第49回日本衛生動物学会

平成9年（1997）4月2～4日（於）千葉市 海外職業訓練協力センター（OVTA）幕張新都心内

○高齢者居住高気密・高断熱住宅における温湿度変動と屋内性ダニ類の発生消長

（財）大阪防疫協会・健康住宅普及協会 成 隆光

◆第9回日本環境動物昆虫学会年次大会

平成9年（1997.11.2～3）（於）名古屋女子大学

○高齢者居住高気密・高断熱住宅におけるダニ発生抑制策の研究

（財）大阪防疫協会・健康住宅普及協会 成 隆光・下出 英明・辻野 守典

◆第25回日本防菌防黴学会年次大会

平成10年（1998）5月26,27日（於）東京都品川区きゅりあん（品川区立総合区民会館）

○HACCP方式の取り組みとPPの標準化・書類化の実際

—製パン製造工程における清掃・洗浄・殺菌作業並びにペストコントロール作業標準化・書類化
の実際—

（財）大阪防疫協会 成 隆光

◆第11回日本環境動物昆虫学会年次大会

平成11年（1999.11.5～6）（於）奈良女子大学

○高気密・高断熱住宅における温湿度変動とチリダニ科の発生消長

（財）大阪防疫協会・健康住宅普及協会 成 隆光・下出 英明・辻野 守典

◆第15回日本ペストロジー学会大会

平成11年（1999.12.1～2）（於）中電ホール（名古屋市）

○チリダニ科の分布、発生消長、増殖に及ぼす湿度の影響

（財）大阪防疫協会・健康住宅普及協会 成 隆光

◆第34回日本ペストロジー学会 鹿児島大会

平成30年11月29日、30日（於）かごしま県民交流センター県民ホール

○大阪市内の民間宿泊施設で見つかったネッタイトコジラミと殺虫剤抵抗性

（一財）大阪防疫協会 成 隆光、北野 正和

いきもの研究社 吉田 政弘

国立感染症研究所 葛西 真治、駒形 修、糸川 健太郎、富田 隆史

講 演

◆(社) 大阪食品衛生協会 関西国際空港支部 講演会

平成13年6月8日（於）ホテル日航関西空港

テーマ「薬剤処理によるネズミ・衛生害虫防除について」 成 隆光

◆東大阪市保健所 食品衛生課主催 食品衛生講習会

平成16年11月25日（於）東大阪市立男女共同参画センター ホール（希来里6階）

テーマ「食品害虫について」 成 隆光

◆(社) 大阪府公衆衛生協力会 支部役員研修会

平成17年2月3日（於）薬業年金会館

テーマ「家屋内で問題となるダニおよび昆虫について」 成 隆光

◆豊中市保健所 講習会

平成25年（2013）8月7日

テーマ「セアカゴケグモの生態、駆除および咬傷時の対応について」 成 隆光

調査研究

◆高齢者居住高気密・高断熱住宅における温湿度変動とダニ類の生息実態調査

調査期間：1994～1995年 技術開発室 成 隆光、下出 英明、辻野 守典

◆高齢者居住高気密・高断熱住宅におけるダニ発生抑制策の研究

調査期間：1996年 技術開発室 成 隆光、下出 英明、辻野 守典

◆異なる湿度条件下でのダニ2種の増殖実験

調査期間：1998年 技術開発室 成 隆光

◆高齢者居住高気密・高断熱住宅における温湿度変動とダニ類の実態調査結果について

調査期間：1994年から1999年 技術開発室 成 隆光

◆トコジラミ（ナンキンムシ）について

調査期間：2004～2008年 技術開発室 成 隆光

◆蚊の防除事例

調査期間：2002～2010年 技術開発室 成 隆光

◆セアカゴケグモの営巣場所について

調査期間：1995～2013年 技術開発室 成 隆光

◆大阪府内の公園で捕獲された新女王バチの捕獲調査結果について

協力：服部緑地管理事務所様

調査期間：2017～2019年 技術開発室

75年のあゆみ

令和5(2023)年8月発行

発 行 一般財団法人 大阪防疫協会
東大阪市下小阪4丁目12-10
理事長 今 田 光 三

印 刷 有限会社サンライズ製版

